

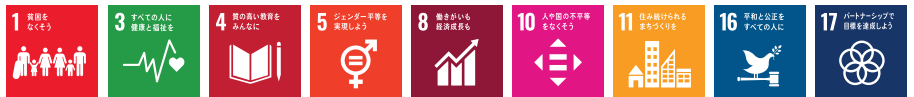
活力ある「やまなし」を育む道

〔戦略のねらい〕

ライフステージに応じた子育て支援、誰一人取り残されることのない包摂性のある社会づくり、医療・福祉に関する不安の解消を通じた活力ある地域づくり、地域を担う人材育成を目指し、次の政策を実施します。

- ▶ 政策 1 子育て支援の充実
- ▶ 政策 2 共生社会化の推進
- ▶ 政策 3 生活基盤の保障
- ▶ 政策 4 困難からの脱却・再挑戦に開かれた社会づくり
- ▶ 政策 5 地域を担う人財づくり

政策 1 子育て支援の充実



◆政策の基本的な考え方

一人ひとりのライフプランに即して、結婚や出産の希望がない、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えることは、人口減少対策として非常に重要です。また、子育てしやすい環境づくりを進めることにより、仕事と子育ての両立が図られ、子育て世代が様々な場面で活躍することが可能となり、子育て世代の定着にもつながります。

このため、子どもの健やかな成長の支援や、子育て支援を担う人材の確保に努めるとともに、市町村と連携して、結婚・出産・子育ての各ライフステージにおいて、必要な支援を行い、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。

また、子どもたちがきめ細かな質の高い教育を受けることができるよう、就学前の全ての子どもが、集団の中で良質で豊かな人間力を育む幼児教育・保育を受ける機会の充実を図ります。

◆パートナーシップ

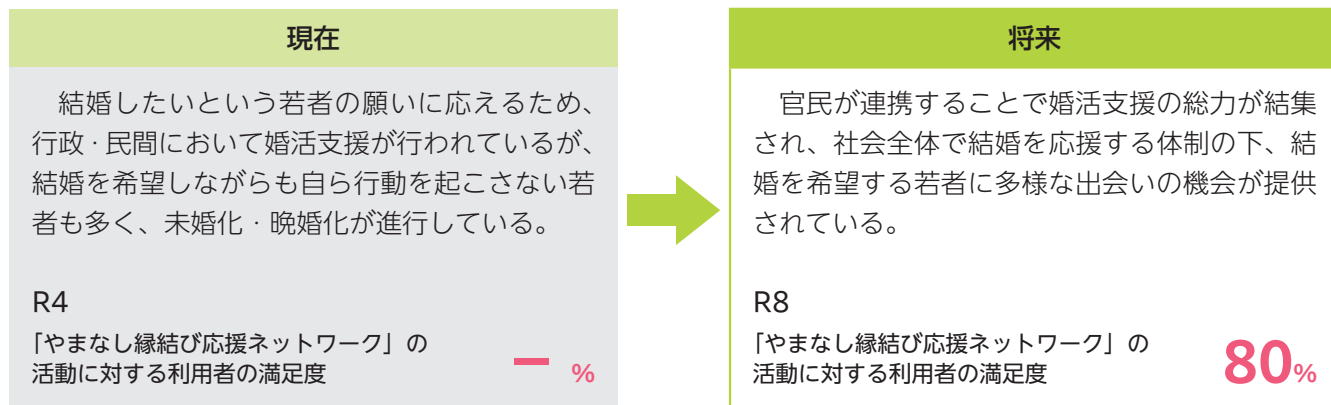


◆期待される政策効果

一人ひとりの結婚や出産の希望が叶い、安心して子どもを産み育てることができる環境が整備されるとともに、きめ細かな質の高い教育が行われています。

1 社会全体での効果的な婚活支援の推進







◆施策の目指す姿



◆施策の概要

結婚を望む若者が希望を叶えることができるよう、多様な婚活サービスを提供する民間とのネットワークを構築し、出会いの機会を拡大するとともに、企業・市町村・ボランティアの協力の下、社会全体での効果的な婚活支援を行います。

(子育て政策課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
「やまなし縁結び応援ネットワーク」による 合同イベント、セミナー等の実施  人口対策パッケージ	実施 			
「やまなし縁結び応援ネットワーク」による マッチング機会の創出支援  人口対策パッケージ	支援 			
「婚活やまなし」によるイベント情報等の発信  人口対策パッケージ	発信 			

2 妊娠・出産の支援

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>不妊治療に取り組む方は増加傾向にあり、心理的・経済的負担が大きい。</p> <p>また、産後うつが増加や育児の孤立化が進行していることから、身体的・精神的ケアの更なる充実が求められている。</p> <p>R4 妊産婦のメンタルヘルスケアに関わる従事者研修の受講者数 278人</p>	<p>子どもを持ちたいと願う方や全ての子育て世帯が安心して妊娠・出産・子育てができている。</p> <p>R8 妊産婦のメンタルヘルスケアに関わる従事者研修の受講者数 846人</p>

◆施策の概要

子どもを持ちたいと願う方に寄り添い、不妊治療への心理的・経済的負担に対する支援を実施するほか、全ての子育て世帯が出産を不安なく迎えるため、宿泊型産後ケア事業やアウトリーチ型支援の拡充により、産前産後における身体的・精神的ケアの更なる充実を図ります。

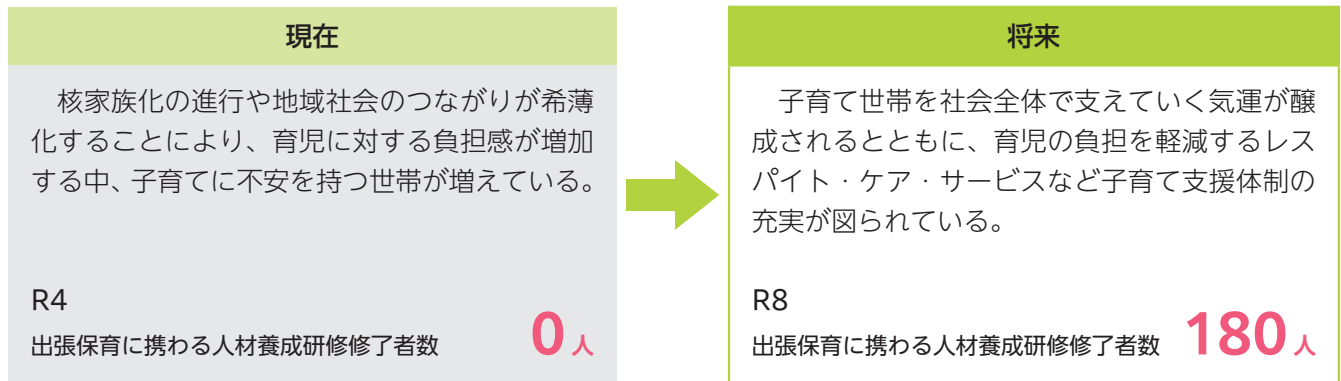
また、一人でも多くの子どもの命を不慮の事故等から守るため、チャイルド・デス・レビューの社会実装を進めるとともに、子どもを亡くした家族の気持ちに寄り添うグリーフケアに取り組みます。

(子育て政策課/医務課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
不妊に関する相談事業の実施 👩👨 人口対策パッケージ	実施			
不妊治療費への助成 👩👨 人口対策パッケージ	実施			
不妊治療に関する理解促進セミナーの実施 👩👨 人口対策パッケージ	実施			
胚培養士の育成支援 👩👨 人口対策パッケージ	支援			
不妊治療や相談に係わる人材育成 (寄附講座への支援) 👩👨 人口対策パッケージ	実施			
アウトリーチ型を含めた伴走型相談事業への支援 👩👨 人口対策パッケージ	支援			
産後ケア事業の利用促進や妊産婦メンタルヘルス従事者研修の実施 👩👨 人口対策パッケージ	実施			
グリーフケア従事者マニュアルの作成、研修の開催 👩👨 人口対策パッケージ	実施			
チャイルド・デス・レビューの実施 👩👨 人口対策パッケージ	実施			

3 子育て支援体制の充実

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

経済団体や保育・教育関係団体等で構成する「やまなし子ども・子育て応援県民会議」を開催し、社会全体で子育て支援に取り組む気運の醸成を図るとともに、産後の母親などが一時的に育児から解放され、気軽にリフレッシュできるようレスパイト・ケア・サービスを推進します。

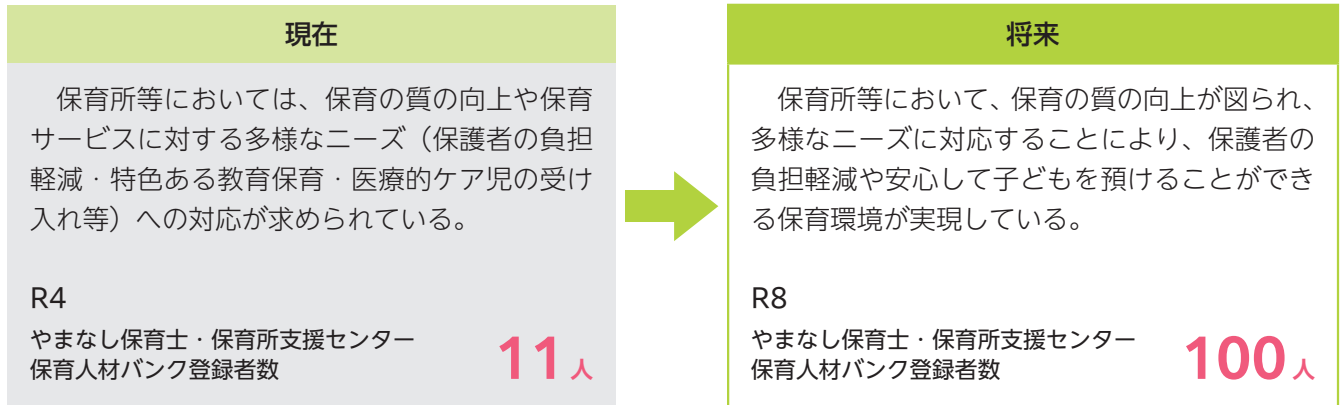
また、子育て支援に必要な情報を提供するとともに、放課後等における子どもの安全な居場所を確保するための支援を行うことにより、子育てに対する不安解消を図ります。

(子育て政策課/生涯学習課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
やまなし子ども・子育て応援県民会議の開催 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	開催			
やまなし子育ての日普及啓発事業の実施 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	実施			
レスパイトケア推進事業の実施 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	実施			
子育てハンドブックやリトルベビーハンドブックの作成・配布 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	作成・配布			
放課後児童クラブ等の整備・運営への支援 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	支援			
子育て相談総合窓口による相談業務の実施 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	実施			
放課後子ども教室への運営支援 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	支援			
放課後子ども総合プラン推進委員会・指導者研修会の実施 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	実施			

4 保育サービスの充実

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

保育・幼児教育団体や保育士養成校などの代表からなる山梨県保育等人材確保・定着等協議会において、保育の質の向上のために必要な施策について検討します。

また、保育士の確保・定着のほか、手づら保育の導入による保護者の負担軽減、国際保育や自然保育、園庭芝生化などの特色ある教育保育、医療的ケア児の受け入れなど、多様な保育サービスの導入を支援します。

(子育て政策課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
山梨県保育等人材確保・定着等協議会の運営 👥 人口対策パッケージ	運営			
やまなし保育士・保育所支援センターによる 保育士確保・定着事業の実施 👥 人口対策パッケージ	実施			
保育士加配に対する助成など保育の質の向上の ための事業の実施 👥 人口対策パッケージ	実施			
保育現場における保育サービスの多様化に 対する支援（国際保育の推進） 👥 人口対策パッケージ	支援			
愛宕山こどもの国を拠点とした自然保育の導入促進 👥 人口対策パッケージ	実施			

5 児童虐待防止対策の強化

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>2021（令和3）年度の本県の児童虐待相談件数（児童相談所及び市町村分）は2,259件と10年前と比べ2倍以上となっている。</p> <p>また、児童虐待に係る通告が児童相談所に集中するとともに対応困難な事案が増加している。</p>	<p>児童虐待に関する県民の知識や理解が深まるとともに、児童相談所や市町村の職員体制が強化され、警察等関係機関との連携も進み、児童虐待に対する的確に対応している。</p> <p>R8 児童相談所や市町村の体制強化が図られ、関係機関と連携し児童虐待に的確に対応している。</p>

◆施策の概要

児童虐待に関する県民の意識を高めるため、市町村や関係機関と連携して、オレンジリボンキャンペーンを「児童虐待防止推進月間（11月）」を中心に実施します。

また、児童虐待をはじめとした子ども家庭福祉への対応強化を図るため、山梨県立大学に子ども家庭福祉課程の大学院を設置し、専門的知識や技術を有する人材を育成するとともに、児童相談所や市町村の職員体制を強化し、警察等関係機関との一層の連携を図ります。

さらに、子どもに対する不当な差別・いじめ・体罰・虐待等の権利侵害を救済するため、子ども支援委員会を設置し、子どもや保護者からの相談・申出に対する調査審議等を行います。

（子ども福祉課／私学・科学振興課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
オレンジリボン（児童虐待防止）キャンペーンの実施 👥人口対策パッケージ	運営			
山梨県立大学に子ども家庭福祉課程の大学院を設置 👥人口対策パッケージ	準備	開学		
児童相談所及び市町村職員の増員や 専門性向上による体制強化 👥人口対策パッケージ	強化			
児童相談所と関係機関との連携強化 👥人口対策パッケージ	強化			
子ども支援委員会の設置・運営 👥人口対策パッケージ	設置・運営			

6 社会的養育の推進

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>子どもが可能な限り家庭的な環境で養育することが求められる中、家庭における養育力が低下するとともに、地域において子どもを養育する体制が脆弱である。</p> <p>また、児童虐待などにより家庭で生活できない子どもについて、その代替養育は本来、家庭と同様の養育環境で養育されるべきであるが、7割が児童養護施設等に入所している。</p>	<p>市町村に設置される「こども家庭センター」を中心に、児童相談所・児童養護施設・警察・学校等の関係機関が連携し、地域において子育て家庭を支援する体制が構築されている。</p> <p>また、児童虐待などにより要保護となった子どもの多くが、里親等に委託され、家庭的な養育環境の中で生活している。</p>
<p>R4 こども家庭センター設置市町村数 0 市町村</p>	<p>R8 こども家庭センター設置市町村数 27 市町村</p>

◆施策の概要

地域における子ども家庭への包括的な支援の中心となる「こども家庭センター」の設置を促進するとともに、里親支援の充実や児童養護施設等の小規模かつ地域分散化により、子どもが家庭的な養育の下で、健全に成長する環境を整備します。

また、ヤングケアラーとその家族の意思を尊重しながら、様々な面からサポートできる体制づくりを行い、切れ目のない重層的な支援を構築します。

(子ども福祉課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
社会的養育推進計画の改定・推進 👨‍👩‍👧‍👦 人口対策パッケージ	推進	推進・改定	推進	
家庭養育支援体制の強化及び施策の推進 👨‍👩‍👧‍👦 人口対策パッケージ	推進			
里親支援体制の強化及び施策の推進 👨‍👩‍👧‍👦 人口対策パッケージ	推進			
ヤングケアラー支援計画の改定・推進 👨‍👩‍👧‍👦 人口対策パッケージ	推進	推進・改定	推進	

政策 2 共生社会化の推進



◆政策の基本的な考え方

人口減少が続く社会で、支える側の人間をどれだけ増やせるかということが非常に大切です。自分ができるところで人を支える、できないことは人に支えてもらうという形の共生社会をつくるのが地域社会の強靱化にもつながります。

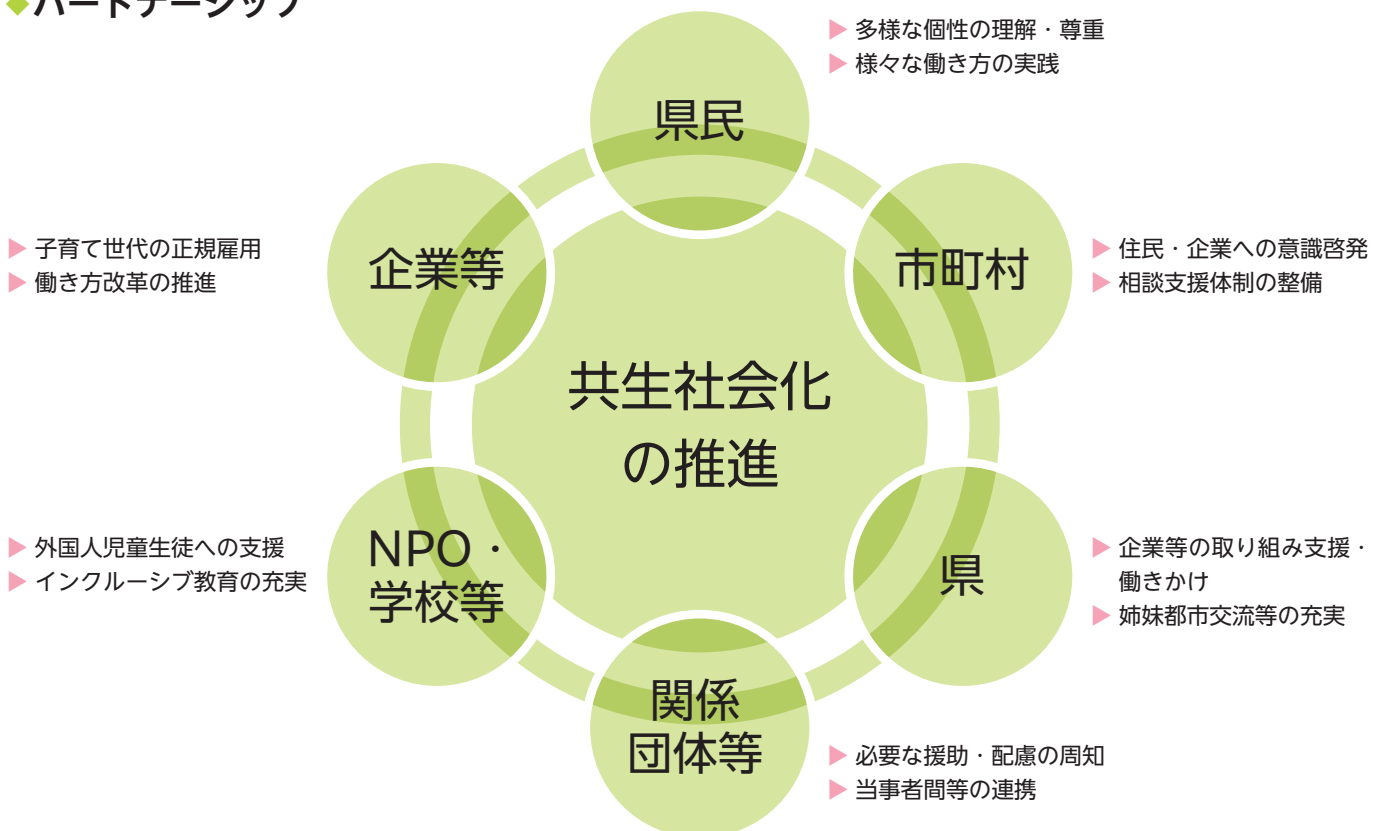
特に、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる環境づくりにより、自分らしく活躍できる女性の増加や、若年女性を中心とした本県への定住の促進といった効果も期待できます。

このため、男女が協力して子育てを行いながら仕事でも活躍できる働き方を実現できるよう、性別役割分担意識の解消など男女共同参画社会の実現に向けた意識改革や、男性の育休取得促進など企業等の取り組みへの支援・働きかけを行い、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めます。

また、年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍等にかかわらず、それぞれの希望に応じて、就労や地域での活動が可能となり、社会の担い手として活躍することができるよう、就労支援や地域生活支援、生活と仕事の両立支援等の取り組みを進めます。

さらに、外国人住民が不安なく生活・活躍できるよう支援するとともに、子どもの頃から外国人と慣れ親しむ機会の提供等を通じ、多文化共生を推進します。

◆パートナーシップ

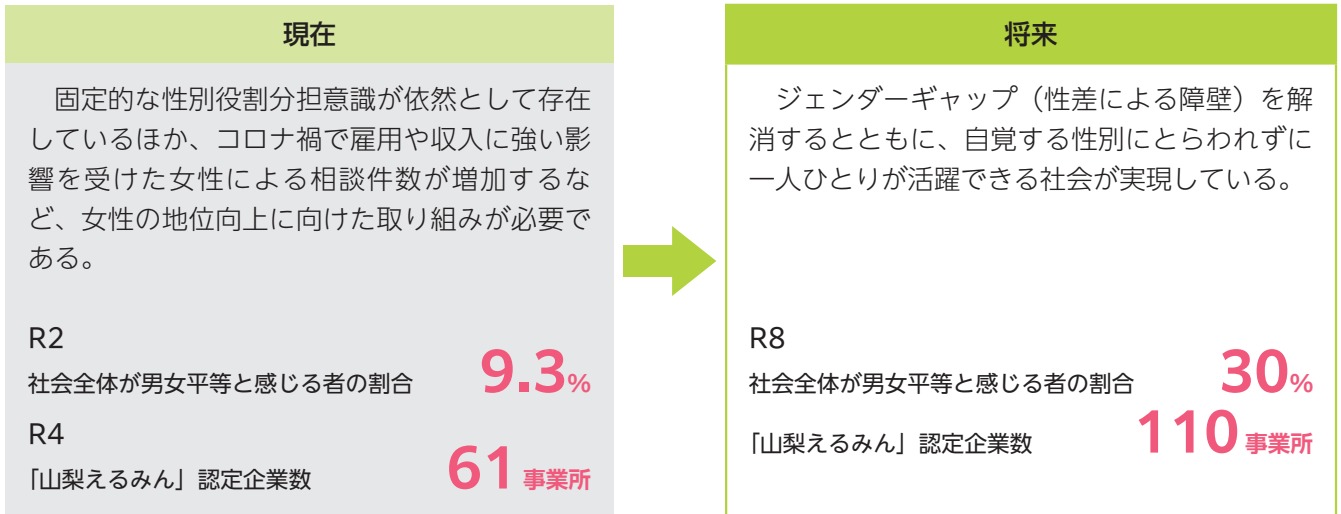


◆期待される政策効果

年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍等にかかわらず、それぞれの希望に応じて、就労や地域での活動を行い、誰もが活躍できる環境が実現しています。

1 男女共同参画・女性活躍の推進

◆ 施策の目指す姿



◆ 施策の概要

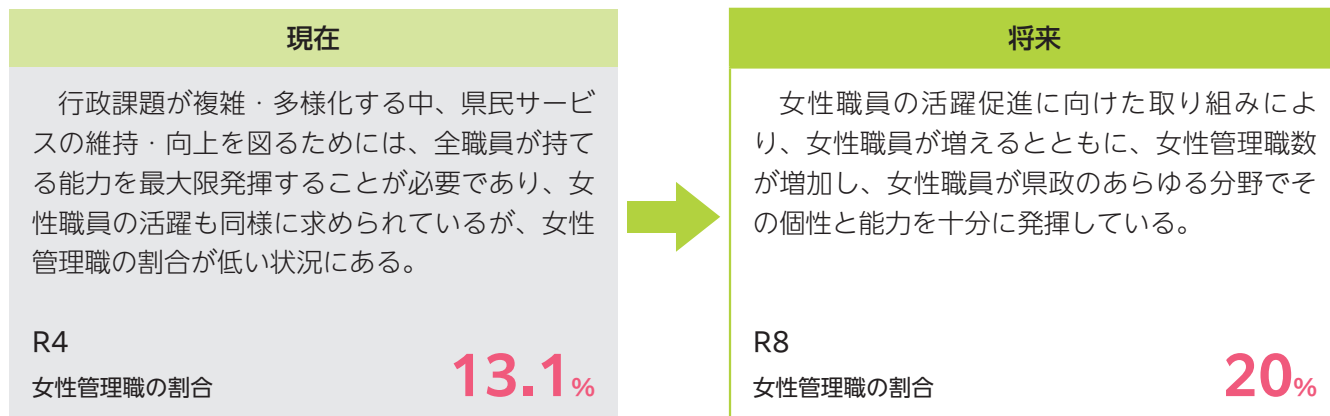
共生社会の実現に向けた大きな一歩である男女共同参画社会を推進するため、その大きな障壁となっている性別による無意識の偏見や思い込みの解消に向けた意識啓発や、女性による政治・経済・社会分野でのリーダーシップの機会確保などに、男女共同参画推進センターを中心に多様な主体と連携・協働しながら取り組みます。また、多様性理解の推進に向けて県全体で取り組む気運醸成を図るとともに、共生社会実現を推進する体制づくりに取り組みます。

(男女共同参画・共生社会推進統括官)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
アンコンシャス・バイアス解消に向けた若年層等への意識啓発 人口対策パッケージ	実施			
女性活躍推進ネットワーク会議の開催 人口対策パッケージ	実施			
女性活躍に資する講演会の開催や人材育成 人口対策パッケージ	実施			
県独自「山梨えるみん」認定制度の運用、認定取得に向けたアドバイザーの派遣 人口対策パッケージ	認定・派遣			
配偶者等からの暴力防止に係る対策の実施 人口対策パッケージ	実施			
多様な主体との連携・協働による施策推進 人口対策パッケージ	推進			
共生社会実現に向けた「憲章」の制定及び多様性理解のための意識啓発 人口対策パッケージ	制定・啓発	啓発		
共生社会実現の推進体制の検討・整備 人口対策パッケージ	検討・整備			

2 県庁における女性管理職登用の推進

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

「4つの取り組み³」により管理職に占める女性職員の割合を段階的に増やすため、女性職員を様々な職域に配置し、管理職となり得る女性職員を拡大するとともに、キャリア意識向上に向けた研修を実施し、能力と意欲のある女性職員を積極的に管理職に登用します。

また、仕事と家庭の両立のため、相談体制の確保や育児・子育て関連制度の周知、職場の理解促進等を図ります。

(人事課)

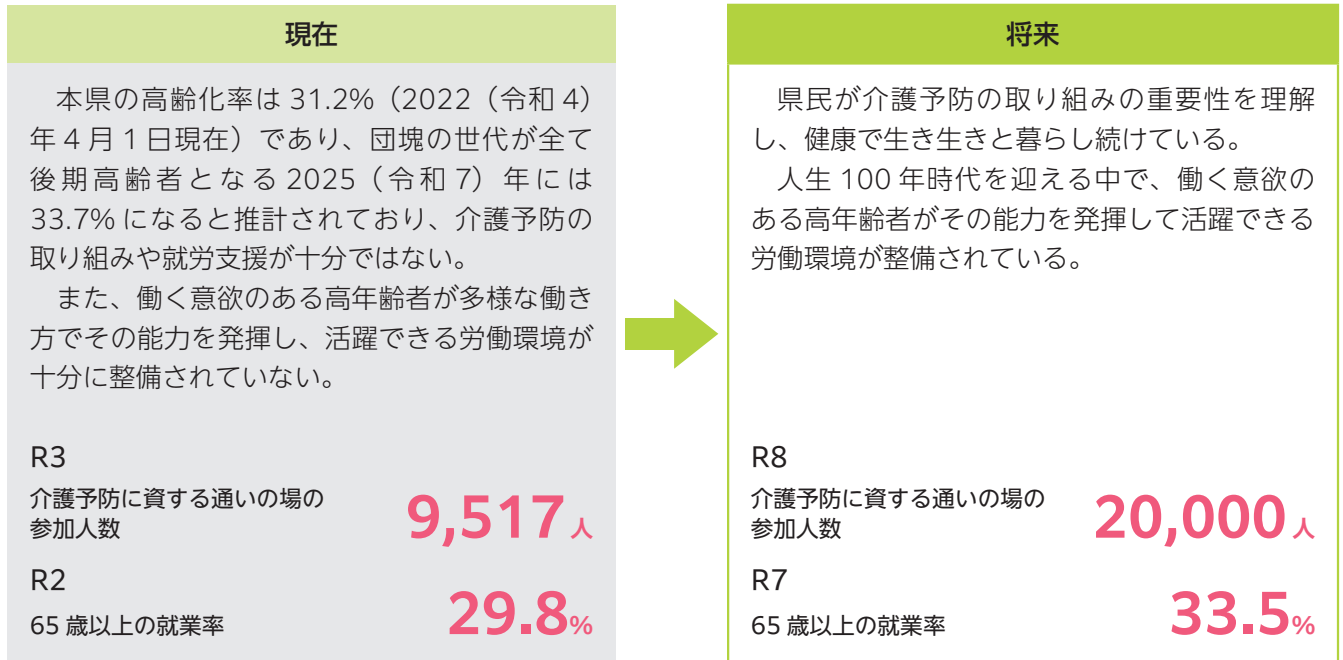
具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
キャリア意識向上に向けた研修	実施			
仕事と家庭の両立支援	推進			
女性管理職の積極的な登用	実施			

³ 管理職に占める女性の割合を増やすための考え方。

- ・意欲ある女性職員を積極的に登用する
- ・管理職になりたい女性職員を増加させる
- ・管理職になりたい女性職員の割合を全職員に占める女性割合と同程度にする
- ・女性職員の絶対数を増やす

3 シニア世代の働く希望を叶える環境づくりやセカンドステージの活動支援

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

高齢者が自ら主体となって、「いきいき百歳体操」等、介護予防に効果的な体操や茶話会、趣味活動等、多様な取り組みを行う「通いの場」の立ち上げを支援し、介護予防とともに地域づくりの取り組みを推進します。

また、就労意欲の高い高齢者が増加していることから、高齢者が活躍できる労働環境を整備し、多様な働き方での就労を支援します。

（健康長寿推進課／労政人材育成課／生涯学習課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
通いの場の立ち上げ及び活動の促進	実施			
フレイル予防の取り組みの促進	実施			
老人クラブ活動に対する支援	支援			
県シルバー人材センター連合会の取り組みへの支援	支援			
高齢者の就労支援	支援			
山梨ことぶき勸学院の運営	運営			

4 障害者の就労支援の充実

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>障害のある方の就職件数は、年々増加しているものの、障害のある方の持つ職業能力や適性が企業に十分に伝わらず、就職に結びつかないケースがある。</p> <p>また、障害のある方の平均工賃月額では障害者年金と合わせても経済的自立ができる環境にあるとはいえない。</p>	<p>障害のある方の就労に対する支援の充実により、障害のある方の職業意識・能力が向上するとともに、企業の理解が進み、身近な地域で生き生きと働くことができている。</p> <p>また、農福連携や産福連携の取り組みを通して障害者施設の生産活動が促進され、障害のある方の収入が向上している。</p>
R4 県内民間企業の障害者雇用率 2.2% 県全体の平均工賃月額 19,181円	R8 県内民間企業の障害者雇用率 2.5% 県全体の平均工賃月額 25,000円

◆施策の概要

障害のある方の円滑な就労や、職業意識・職業能力の向上を図るため、障害のある方の特性やニーズに応じた職業訓練や職業能力検定等を行うとともに、就職、職場定着を促進するため、障害者就業・生活支援センターや特別支援学校、ハローワークなどと相互に連携し、就職準備期から情報を共有し、職場体験の機会の提供や就業に伴う生活支援を行います。

また、障害者施設で働く障害のある方の収入向上や就労機会の確保を図るため、農福連携の取り組みにより、労働力不足を補いたい農家との仲介や障害者施設への農作業の技術的な支援、農福連携商品のブランド化の支援を行うとともに、産福連携の取り組みにより、幅広い産業分野の企業と障害者施設の新たな連携の支援を行います。

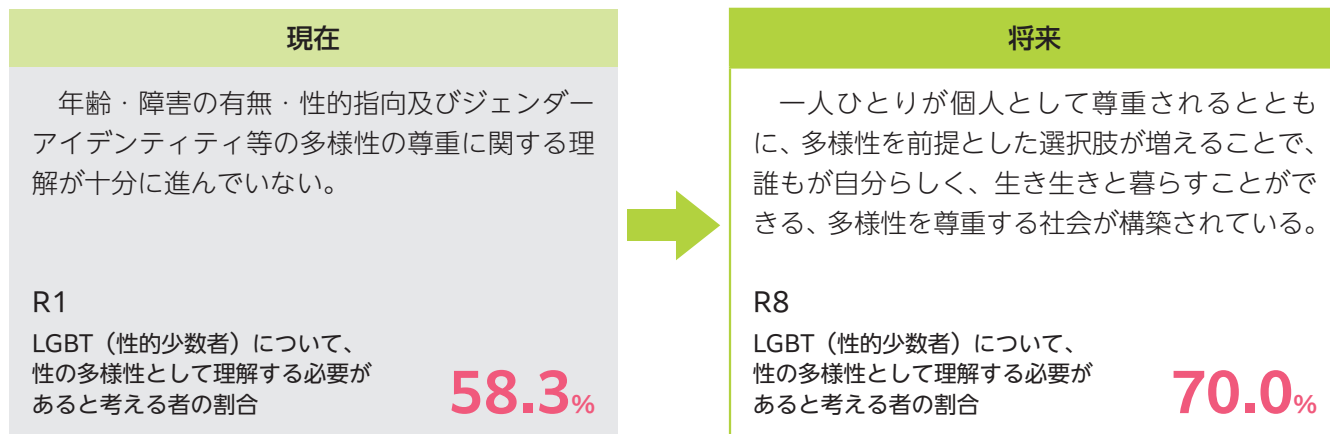
さらに、障害のある方が、本人の意向や障害特性に応じて、身近な地域で就労できるよう関係機関等が連携（障害者雇用等推進会議）して、課題解決を図ります。

(障害福祉課/農村振興課/労政人材育成課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
障害者を対象とした職業訓練の実施	実施			
障害者職業能力検定の実施	充実・支援			
障害者就業・生活支援センターを中核とした就業支援	支援			
農福連携の取り組み (マッチング・障害者施設への農作業の技術的な支援・商品のブランド化支援等) を中心とした工賃向上支援	支援			
産福連携の取り組み (マッチング・工賃向上アドバイザー派遣・インセンティブ事業等) を中心とした工賃向上支援	支援			
関係機関等が連携 (障害者雇用等推進会議) し、障害のある方の意向や障害特性に対応した就労環境を整備	開催・実施			

5 年齢・障害の有無・性的指向・ジェンダーアイデンティティ等の多様性尊重

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

誰もが自分らしく活躍できる多様性が尊重される共生社会の実現を推進するため、一人ひとりの「選択自由度の最大化」と「参画障壁の最小化」を目指した意識啓発や制度整備等に取り組みます。

多様な性への県民理解の浸透を図るとともに、性的少数者の方々がパートナーと充実した生活を営むための一助とするため、「パートナーシップ宣誓制度」を導入します。

障害や障害のある方への理解を深め、障害を理由とする差別を解消するため、学校等における障害のある方とない方が交流する機会の創出や、県民や企業等へ障害に対する正しい知識や適切な配慮に関する普及啓発、県及び市町村に配置する相談員の資質の向上を図ります。

また、急速な高齢化の進展に伴い認知症の方が増加している現状等に鑑み、認知症への正しい理解や、認知症の方や家族を温かく見守る活動を促進するとともに、認知症サポーター等が支援チームを作り、地域で暮らす認知症の方やその家族の支援ニーズにあった具体的な支援につなげる仕組みである「チームオレンジ」の立ち上げを支援するなど、認知症との共生に努めます。

(男女共同参画・共生社会推進統括官／健康長寿推進課／障害福祉課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
共生社会実現に向けた「憲章」の制定及び多様性理解のための意識啓発【再掲】 👥 人口対策パッケージ	制定・啓発	啓発		
共生社会実現の推進体制の検討・整備【再掲】 👥 人口対策パッケージ	検討・整備			
障害や障害のある方への理解の促進 👥 人口対策パッケージ	実施			
手話言語の普及・啓発	実施			
性の多様性に関する意識啓発 👥 人口対策パッケージ	意識啓発			
パートナーシップ宣誓制度の導入 👥 人口対策パッケージ	導入・実施			
認知症への理解の促進【再掲】	理解促進			
チームオレンジ設置への支援【再掲】	実施			

6 多文化共生社会づくりに向けた支援と環境整備

◆施策の目指す姿

現在		将来	
<p>在留外国人数が増加傾向にある中、言葉の壁や文化の違いなどによる悩みを抱える外国人住民が少なくない。</p> <p>全国的には、技能実習生を安価で単純な労働力とみなして、劣悪な労働環境を強いる事業者もある。</p> <p>日本語能力の欠如は生活の支障に直結するにもかかわらず、ほとんど日本語を使えない外国人が一定数存在する。</p> <p>言葉の壁により外国人住民が得られる情報は限られるほか、心の壁により生きづらさを感じている外国人住民は少なくないものの、彼らを支援する体制は十分とはいえない。</p>		<p>外国人住民が自己肯定感を持って不安なく生活・活躍できる多文化共生社会が実現している。</p> <p>本県においては、外国人技能実習生に係る労働環境の適正化が浸透し、実習生が自分らしさを発揮できるとともに、健全な人間関係を構築している。</p> <p>外国人住民が、日本語を習得し、生活に必要な情報を容易に入手できるようになっている。</p> <p>全てのライフステージにおける切れ目のない外国人支援が可能となる体制が整備されている。</p>	
R4		R8	
外国人相談支援センター相談件数	380件	外国人相談支援センター相談件数	600件
市町村日本語教室設置数	13教室	市町村日本語教室設置数	19教室
SNSプラットフォーム登録者数	100人	SNSプラットフォーム登録者数	500人
外国人地域生活サポーター 1人当たり対応件数	18件	外国人地域生活サポーター 1人当たり対応件数	22件
R3			
やまなし労働環境適正化推進 ネットワークへの参加団体数	71団体	やまなし労働環境適正化推進 ネットワークへの参加団体数	120団体

◆施策の概要

外国人住民が安心して暮らせるとともに、「第二のふるさと」と思ってもらえるようにするため、外国人相談支援センター等による相談支援を行います。

外国人が安心して働き、活躍できる山梨県の実現を目指す「やまなし労働環境適正化推進ネットワーク」の輪を拡げます。

「日本語教育推進県やまなし」の旗印の下、市町村と連携し、生活者及び入国後間もない外国人住民が速やかに日本語教育を受けられるよう、地域日本語教育の体制整備を図り、外国人住民の日本語習得を支援します。

SNSを活用した効果的な情報提供手段の確立を図るとともに、市町村や国の機関とも連携して、行政情報の速やかな多言語提供を推進します。

全てのライフステージにおいて外国人を支えるため、多文化ソーシャルワーカーや外国人地域生活サポーターを育成し、地域における支援体制を整備します。

(男女共同参画・共生社会推進統括官)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
外国人相談支援センターの設置	設置			
多文化ソーシャルワーカーの育成・活動支援	育成・活動支援			
外国人地域生活サポーターによる支援	支援			
やさしい日本語講習の開催	開催			
やまなし労働環境適正化ネットワーク参加団体における情報共有や勉強会の開催	開催			
地域日本語教育の推進	推進			
SNS プラットフォームの周知	周知			
行政情報の多言語化促進	促進			

7 多文化共生コミュニティづくりの推進

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>外国にルーツを持つ子どもたちが、地域に溶け込めず、母文化コミュニティの中だけで生活している事例が見受けられる。</p> <p>外国人住民と日本人住民との間に心の壁が存在し、両者の交流が十分とはいえない。</p> <p>県民の中には、文化や習慣の違いを受け入れられず、排他主義的な思考に陥ってしまう者もいる。</p>	<p>外国にルーツを持つ子どもたちがコミュニティの輪を拓き、地域社会とつながっている。</p> <p>外国人住民が地域社会に円滑に溶け込み、全ての人が自分らしさを発揮できる人間関係づくりが進んでいる。</p> <p>国籍や出自の区別なく、相互に違いを受け入れ、足りないところを互いに補い合える地域社会が形成されている。</p>
<p>R4</p> <p>県内自治体等外国人交流イベント開催数 1回</p> <p>日本人親子を対象とした研修会・交流会の参加者数 —</p>	<p>R8</p> <p>県内自治体等外国人交流イベント開催数 10回 (R5～8累計)</p> <p>日本人親子を対象とした研修会・交流会の参加者数 100人/年</p>

◆施策の概要

外国にルーツを持つ子どもたちに対して、地域とのつながりを醸成する様々な取り組みを実施するとともに、外国人住民に対しても、お祭りなど地域の行事への積極的参加を促すことにより、コミュニティの中に留まることなく、社会の一員として活躍できる環境づくりを図ります。

お祭りなど地域の行事への外国人住民の積極的参加を促し、国籍による隔たりのない人間関係が構築されるような環境整備を促進します。

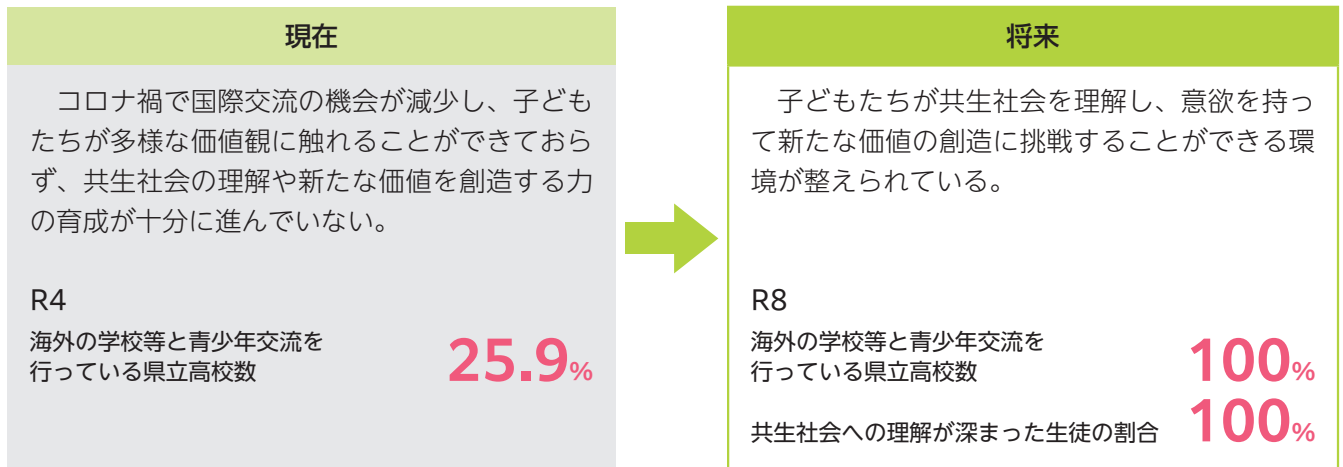
あらゆる機会を捉えて、広く県民を対象に「やまなし多文化共生社会実現構想」の周知を図り、自他尊重や共生の精神を醸成し、多文化共生に係る意識改革を図ります。

(男女共同参画・共生社会推進統括官／子育て政策課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
外国人児童・生徒等への支援 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	支援			
保育現場における保育サービスの多様化に対する支援（国際保育の推進）【再掲】 👨👩👧👦 人口対策パッケージ	支援			
多様な主体と連携した交流イベントの開催・支援	開催・支援			
「やまなし多文化共生社会実現構想」の周知	周知			
日本人親子を対象とした研修会・交流会等の開催	開催			

8 共生社会で活躍する人材の育成

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

次代の共生社会を担う子どもたちが共生社会の理解と将来への挑戦意欲を育成するために、多彩な背景を有する国内外の人々と出会い、多様な価値観に触れ、将来の挑戦・活躍へのモチベーションを高められる取り組みを推進します。

青少年の国際交流活動を活性化させるため、県立国際交流・多文化共生センターを活用して、青少年が姉妹友好地域について学び、交流できる機会と場を提供します。また、子どもたちの実践的な国際理解教育などの充実を図ります。

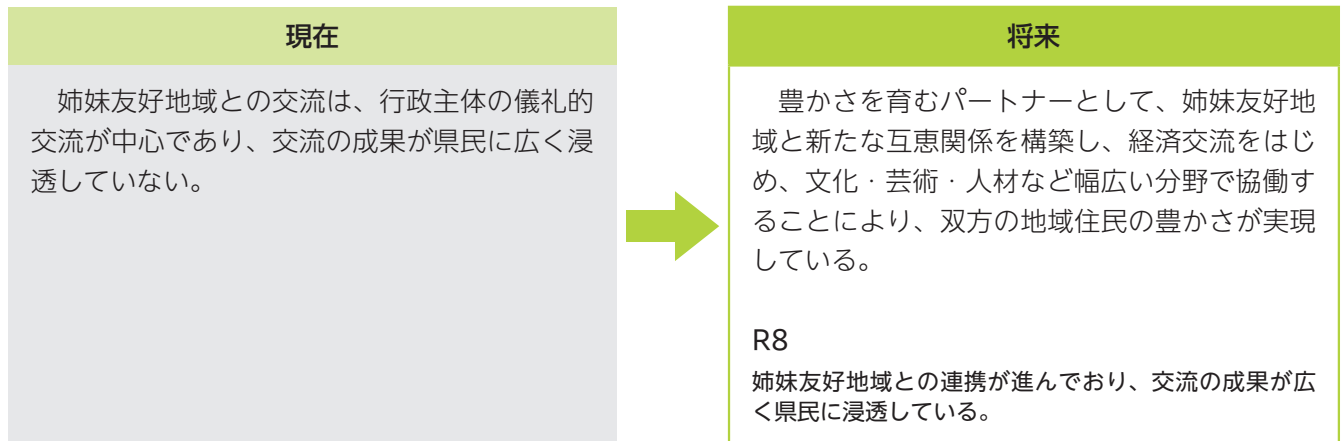
(高校教育課/国際戦略グループ)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
海外の姉妹友好地域との青少年交流	検討・実施	実施		
姉妹友好地域との対面・オンライン交流等の実施	実施			
地域の文化や産業を支えるグローバル人材の育成	実施	実施・検証	実施	
県立高校における国際バカロレア (IB) の実施	実施			
アントレプレナーシップ教育 ⁴ 、キャリア教育の充実	実施	実施・検証	実施	
県立国際交流・多文化共生センターを活用した国際交流の実施	実施			

⁴ ここでの「アントレプレナーシップ教育」とは、起業や社会課題解決等、新たな価値を生み出す姿勢や発想・能力等（アントレプレナーシップ、起業家精神）を身に着けるための教育をいう。

9 「姉妹都市2.0」への発展

◆施策の目指す姿



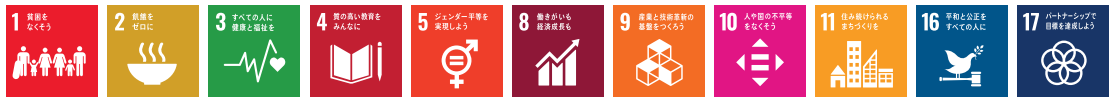
◆施策の概要

姉妹友好地域との新たな互惠関係を構築し、姉妹友好地域との交流を県民の豊かさに結びつけるため、周年記念事業を契機に姉妹友好地域と覚書等を締結し、本県と姉妹友好地域が相互に連携できる分野について取り組みを進めます。

(国際戦略グループ)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
周年記念事業を契機とした覚書等締結				▶
覚書等に基づいた取り組み支援・実施				▶

政策 3 生活基盤の保障



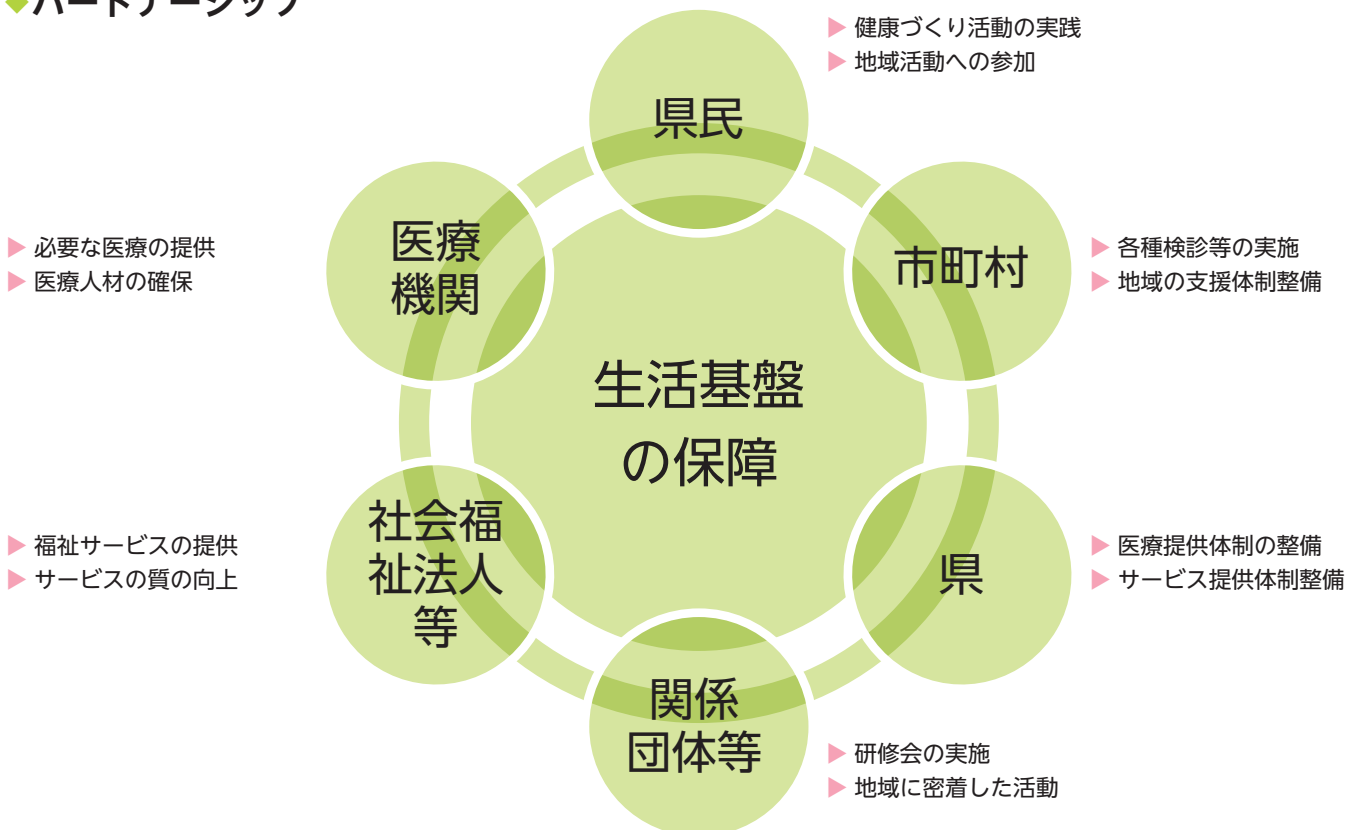
◆政策の基本的な考え方

健康は人生 100 年時代の基盤となるため、安心して医療を受けることができる体制を確保するとともに、現在も高い水準にある健康寿命の更なる延伸により、県民一人ひとりの QOL（生活の質）の向上を図っていく必要があります。

このため、地域で必要とされる医療を持続的に提供できるよう、医療体制を整備するとともに、がんなどの疾病対策、歯科口腔機能の維持・向上、医療や健診等のデータを活用した自発的な健康づくり、生活習慣病予防等を進めます。

また、地域包括ケアシステムや障害福祉サービス、自殺防止対策など個別のニーズに対応した取り組みを進めるとともに、介護待機者ゼロ社会を目指した施設整備、相談体制の充実、多様な主体の連携などを推進します。

◆パートナーシップ



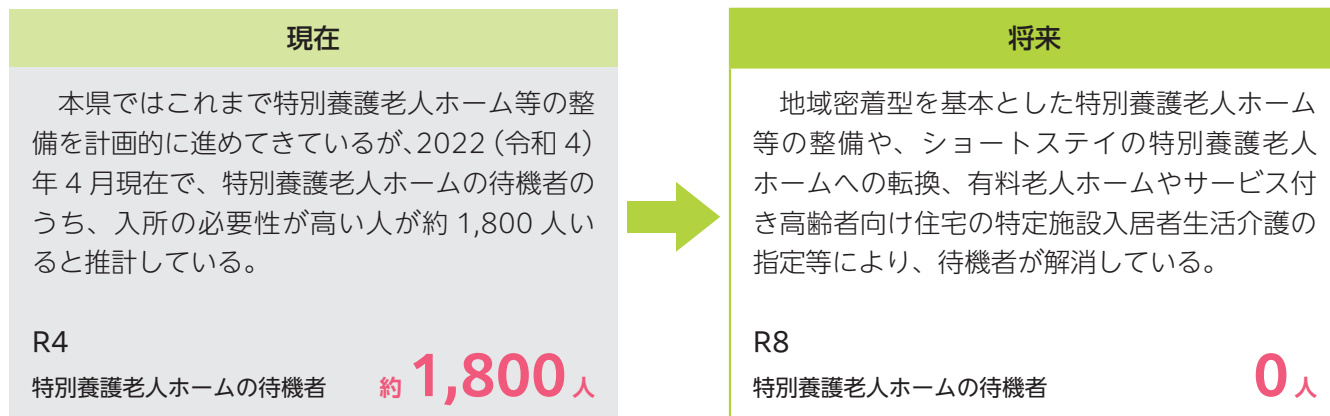
◆期待される政策効果

安心できる医療提供体制が整備されるとともに、疾病予防や生活習慣病予防等の取り組みが進み、健康寿命の延伸が図られています。

また、多様化・複雑化する福祉ニーズに対応する取り組みが進み、誰もが地域で安心して自分らしく暮らすことができるようになっていきます。

1 「介護待機ゼロ」の取り組みの推進

◆施策の目指す姿







◆施策の概要

介護施設の整備については、地域密着型特別養護老人ホームの整備を支援するとともに、市町村と連携の上、ショートステイの特別養護老人ホームへの転換、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の特定施設入居者生活介護の指定を進めます。

また、実際に介護サービスを提供する介護人材の確保・定着を進めるとともに、これらを通して施設入所が必要な高齢者だけでなく、介護者への支援を促進します。

（健康長寿推進課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
地域密着型特別養護老人ホームの計画的な整備促進  人口対策パッケージ	整備	整備（第9期計画）		
ショートステイの特養転換等促進  人口対策パッケージ	転換	転換（第9期計画）		
家族介護者及び介護事業所の支援、介護人材の確保・定着の促進（介護福祉総合支援センター）  人口対策パッケージ	実施			
介護施設・事業所の評価認証の取得促進  人口対策パッケージ	取得促進			

2 認知症施策の推進

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>本県の認知症高齢者の数は、28,499人（2022（令和4）年4月1日現在）で高齢者人口の11.3%を占めている。</p> <p>また、65歳未満の現役世代に発症する若年性認知症の発症件数の増加も見込まれている。</p>	<p>認知症の方が県内のどこに住んでいても適切な医療・介護サービスを受けることができ、認知症の方やその家族の意思が尊重され、住み慣れた地域でニーズに応じた支援を受けながら、安心して暮らし続けることができる。</p>
<p>R4 チームオレンジを設置する市町村数 3市町村</p>	<p>R8 チームオレンジを設置する市町村数 27市町村</p>

◆施策の概要

認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制を充実させるとともに、高齢者ができる限り住み慣れた地域で住み続けられるよう支援体制を構築します。併せて、若年性認知症の方や家族を支援するため、県が設置している若年性認知症相談支援センターにおいて、若年性認知症支援コーディネーターによる福祉・医療・就労など、切れ目のない支援を行います。

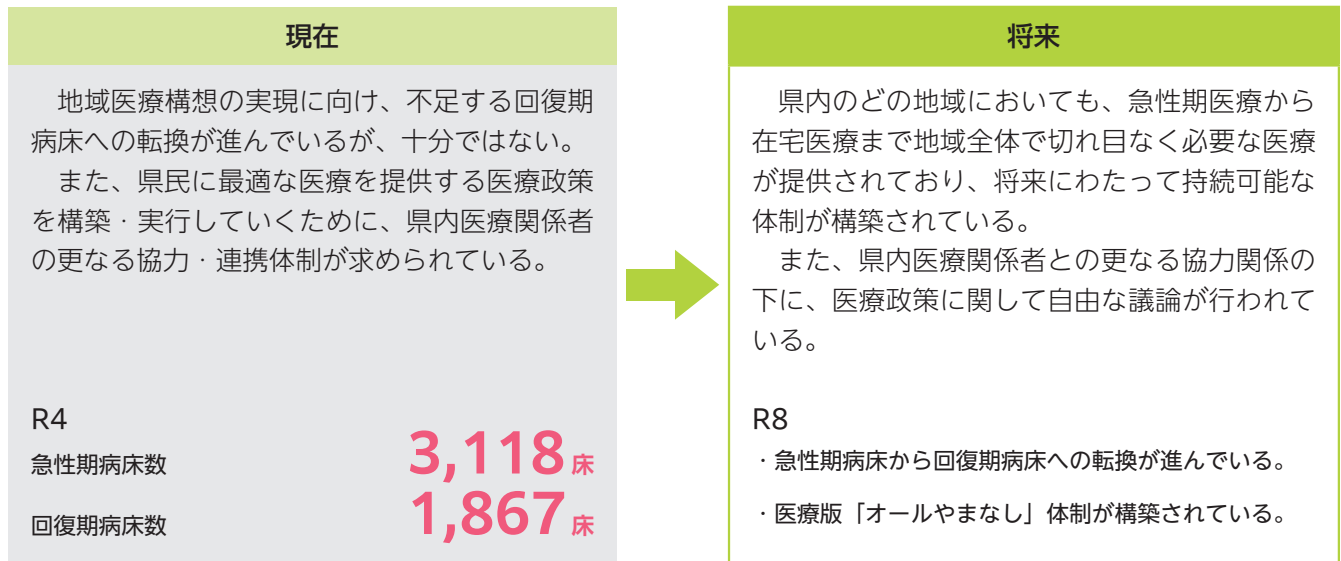
また、認知症への正しい理解や、認知症の方や家族を温かく見守る活動を促進するとともに、認知症サポーター等が支援チームを作り、地域で暮らす認知症の方やその家族の支援ニーズにあった具体的な支援につなげる仕組みである「チームオレンジ」の立ち上げを支援するなど、認知症との共生に努めます。

（健康長寿推進課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
早期診断・早期対応に向けた支援体制の整備	整備促進			
地域での支援体制の構築	体制構築			
若年性認知症の方や家族への支援	実施			
認知症への理解の促進	理解促進			
チームオレンジ設置への支援	実施			

3 地域医療体制の整備・構築

◆ 施策の目指す姿



◆ 施策の概要

県民が住み慣れた地域において質の高い医療を受けられるよう地域医療構想を推進し、医療機関における医療機能の分化・連携を進めるとともに、多様化・複雑化する医療ニーズにも対応した持続可能な地域医療体制の整備・構築を図ります。

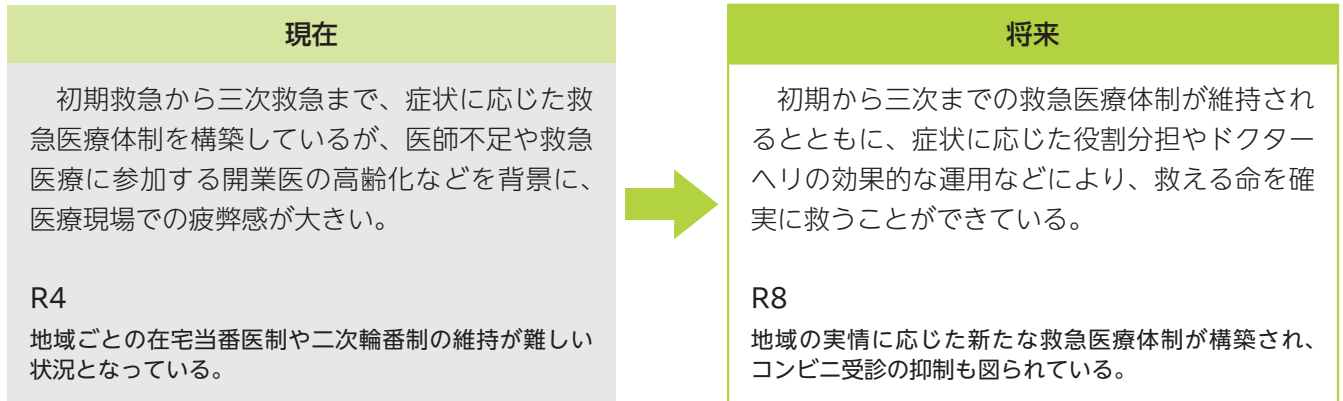
また、県内医療関係者との協力・連携のもとに「医療版政策評議会（仮称）」を設置し、助言をいただきながら、県民に最適な医療を提供する医療政策を実行します。

（医務課／衛生業務課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
地域医療構想調整会議の開催	開催			
医療機能の分化・連携のための施設・設備整備への支援	支援			
地域連携薬局の推進	実施			
医療版政策評議会の開催	検討	開催		

4 救急医療体制の確保・充実

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

医師の不足や働き方改革の施行などの課題が生じている中、軽症患者から重症・重篤患者まで、症状に応じた医療を適時・適切に提供するため、持続可能な救急医療体制の構築に向けた検討を行うとともに、体制の充実を図ります。

(医務課/消防保安課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
持続可能な救急医療体制の構築・推進	構築・推進			
初期救急医療体制の運営支援	支援			
二次救急医療機関の運営、設備整備への支援	支援			
高度救命救急センター運営への支援	支援			
ドクターヘリ運用への支援	支援			
歯科救急医療体制の運営支援	支援			
救急医療情報の提供、適正受診に向けた啓発の実施	実施			

5 医療人材の確保

◆施策の目指す姿

現在		将来
<p>医師や看護職員の総数確保は一定程度図られているが、医療機関における医師・看護職員の不足感は強く、地域間の偏在等も生じている。</p>		<p>医師・看護職員が充足するとともに、地域間の偏在等が是正されている。</p>
<p>R4 医師偏在指標（2023（R5）年3月31日暫定値）</p>		<p>R8 医師偏在指標が 全国平均値に 近づいた医療圏数</p>
全国	255.6	3 医療圏（中北医療圏以外）
山梨県	240.8	
中北医療圏	271.6	
峡東医療圏	179.7	
峡南医療圏	198.7	
富士・東部医療圏	222.5	

◆施策の概要

山梨大学や関係機関等との連携の下、医師や看護職員の確保・県内定着の促進・地域偏在の是正を図るため、修学資金貸与や育成等の支援、本県の魅力発信等を計画的に進めるとともに、産科など特に充実が必要な診療科を担う人材の確保に取り組みます。

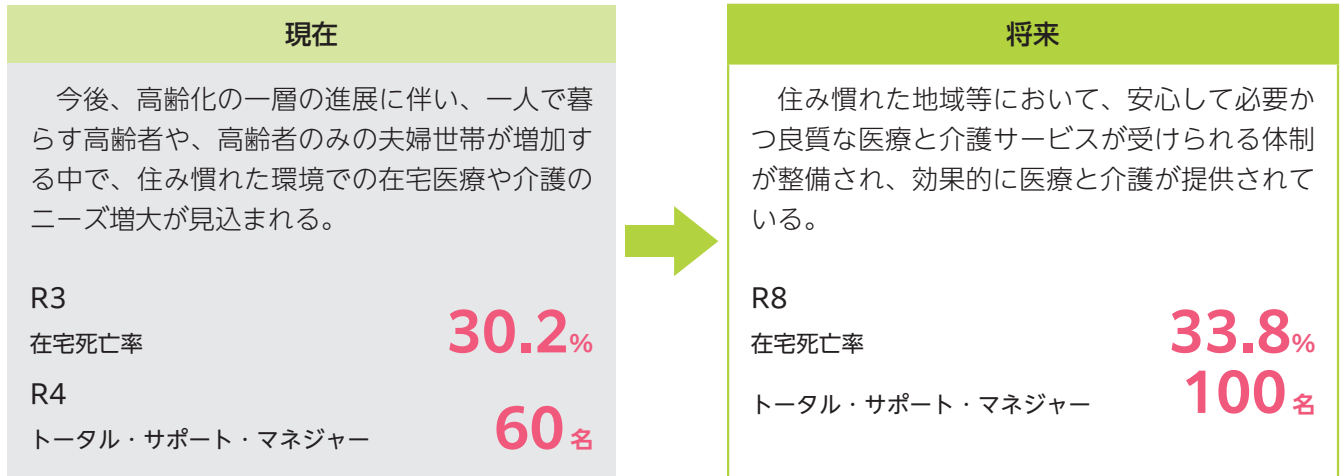
また、今後、新興感染症の感染拡大に対応できるよう、県内で感染管理認定看護師の養成に取り組みます。

（医務課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
医師確保計画の策定	検討・策定			
山梨県看護職員需給計画（第9次）の策定			検討・策定	
地域医療対策協議会の開催	開催			
医師確保対策の推進、育成支援	推進・支援			
看護職員確保対策の推進、資質向上支援	推進・支援			
感染管理認定看護師の養成【再掲】	教育課程の開設・養成			
医療従事者の勤務環境改善の支援	支援			

6 在宅医療・介護の充実

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

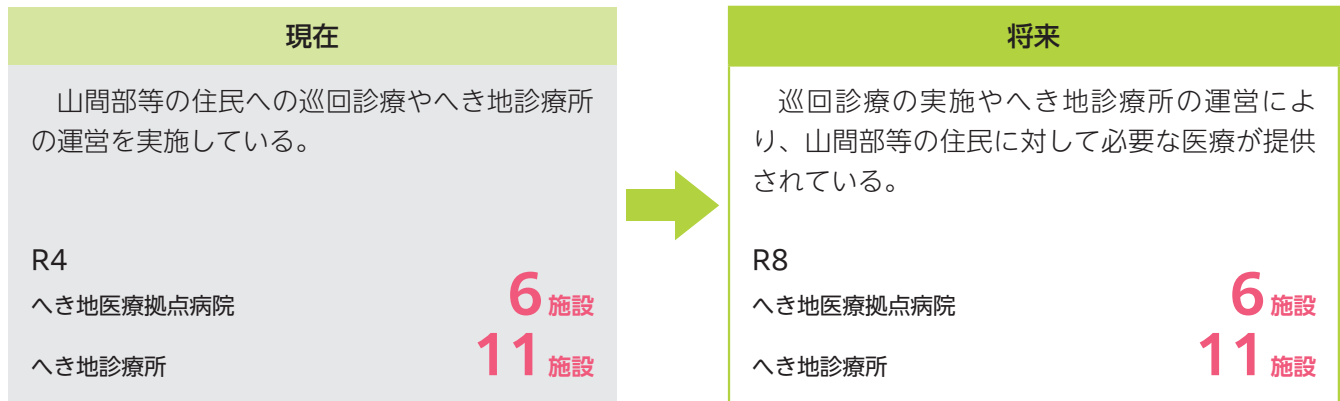
医療と介護の連携を更に推進し、在宅医療及び介護の提供体制の充実を図るため、在宅医療や介護に関する人材育成・多職種連携・拠点形成に取り組みます。

(健康長寿推進課/医務課/衛生業務課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
在宅医療・介護を担う人材の確保・養成	支援			
県・市町村及び関係団体等の連携・協議の推進	連携・協議			
多職種が連携して医療・介護を提供する体制整備への支援	支援			
地域連携薬局の推進【再掲】	実施			
訪問看護支援センターの運営	実施			

7 へき地医療の充実・強化

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

山間部等の住民に医療を適切に提供し、「誰一人取り残されない医療」を実現するため、へき地医療拠点病院やへき地診療所への支援を充実させるとともに、地域の医療機関へ配置される自治医科大学卒業医師の確保を図ります。

また、オンライン技術等を活用した健康観察等、日常的に見守るシステムの構築に取り組みます。

(医務課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
へき地医療拠点病院が実施する巡回診療や医師派遣への支援	支援			
へき地診療所等が実施する施設・設備整備への支援	支援			
自治医科大学卒業生のへき地医療機関への配置	実施			
オンライン技術等を用いた健康観察の推進	モデル事業実施	モデル事業検証・拡大		

8 産科・周産期医療の確保

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>周産期母子医療センターが設置されるとともに、県内全ての医療圏において、分娩取扱い医療機関の確保またはセミ・オープンシステム⁵の実施が実現しているが、産科医師の高齢化への対応や不妊治療に係わる人材の育成が十分ではない。</p>	<p>県内のどこでも安心して妊娠・出産ができる医療提供体制が確保されている。</p>
<p>R4</p> <p>分娩取扱い医療機関数 16 施設</p> <p>総合周産期母子医療センター 1 施設</p> <p>地域周産期母子医療センター 5 施設</p>	<p>R8</p> <p>分娩取扱い医療機関数 16 施設</p> <p>総合周産期母子医療センター 1 施設</p> <p>地域周産期母子医療センター 5 施設</p>

◆施策の概要

県内のどこでも安心して妊娠・出産ができる医療提供体制の維持・確保を図るため、周産期母子医療センターへの支援や、山梨大学と連携した産科医の確保や不妊治療に係わる人材の育成などに取り組みます。

(医務課/子育て政策課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
総合・地域周産期母子医療センターへの支援 👤人口対策パッケージ	支援			
産科医確保や不妊治療に係わる人材育成 (寄附講座の設置) 👤人口対策パッケージ	実施			
胚培養士の育成支援【再掲】 👤人口対策パッケージ	支援			

⁵ 妊婦健診は通院に便利で身近な診療所や病院においてその診療所等の医師が行い、緊急時の診療や出産は分娩取扱い病院においてその病院の医師が行う仕組み。

9 災害医療体制の強化

◆施策の目指す姿

現在		将来	
災害医療訓練の実施や災害拠点病院等の設備整備により、災害医療救護体制を確保しているが、DMAT や災害医療コーディネーターの養成等が十分ではない。		DMAT・DPAT・災害医療コーディネーター等の養成・育成が十分図られるとともに、実践的な災害医療訓練の実施などにより、災害時の医療救護体制及び受援体制の強化が図られている。	
R4		R8	
日本 DMAT 資格保有者	227人	日本 DMAT 資格保有者	267人
災害医療コーディネーター	20人	災害医療コーディネーター	28人

◆施策の概要

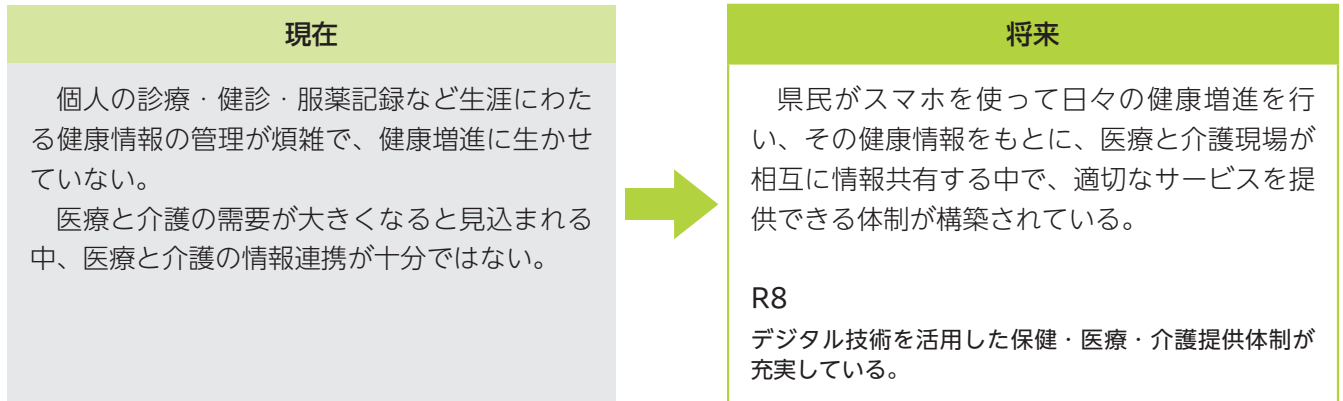
甚大な被害が想定される南海トラフ地震等に備えるため、実践的な訓練や災害医療関係者等に対する研修、災害拠点病院等への支援を行うなど、災害時医療救護体制等の充実に努めます。

(医務課/健康増進課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
大規模災害を想定した訓練の実施	実施			
DMAT・DPAT・災害医療コーディネーター等の養成・育成支援	支援			
災害拠点病院等が実施する設備整備への支援	支援			
広域医療搬送拠点臨時医療施設（SCU）の整備	実施			
大規模災害時の身元確認体制の強化	実施			

10 「デジタル医療立県やまなし」の推進

◆ 施策の目指す姿



◆ 施策の概要

医療や介護サービスが適切に提供できる体制を構築するため、電子版かかりつけ連携手帳を基軸とした各種取り組みの更なる推進を図るとともに、医療機関におけるデジタル化を推進します。

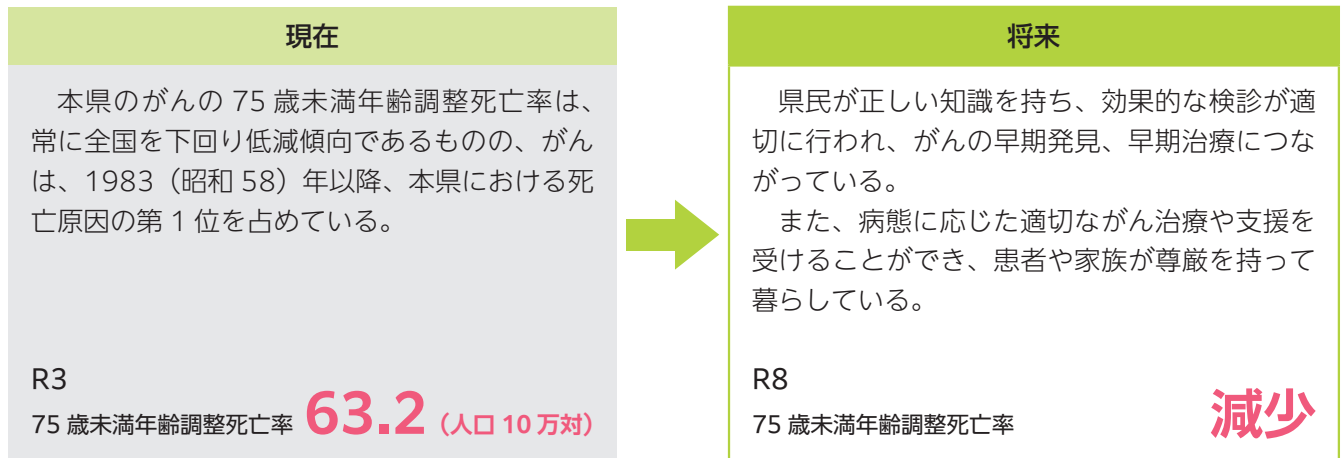
また、重度心身障害者医療費助成制度の受給者の方を対象に、実質的な窓口無料化となる電子決済モデル事業を推進していきます。

(医務課/障害福祉課/健康長寿推進課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
電子版かかりつけ連携手帳の普及	啓発・拡大			
オンライン診療システムの普及	拡大			
重心電子決済モデル事業の推進	拡大			
介護現場における「帳票訪問看護システム」の活用	モデル事業実施	モデル事業検証・拡大		
オンライン技術などを用いた健康観察等の推進【再掲】	モデル事業実施	モデル事業検証・拡大		
医療機関におけるデジタル化の推進	推進			

11 がん対策の推進

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

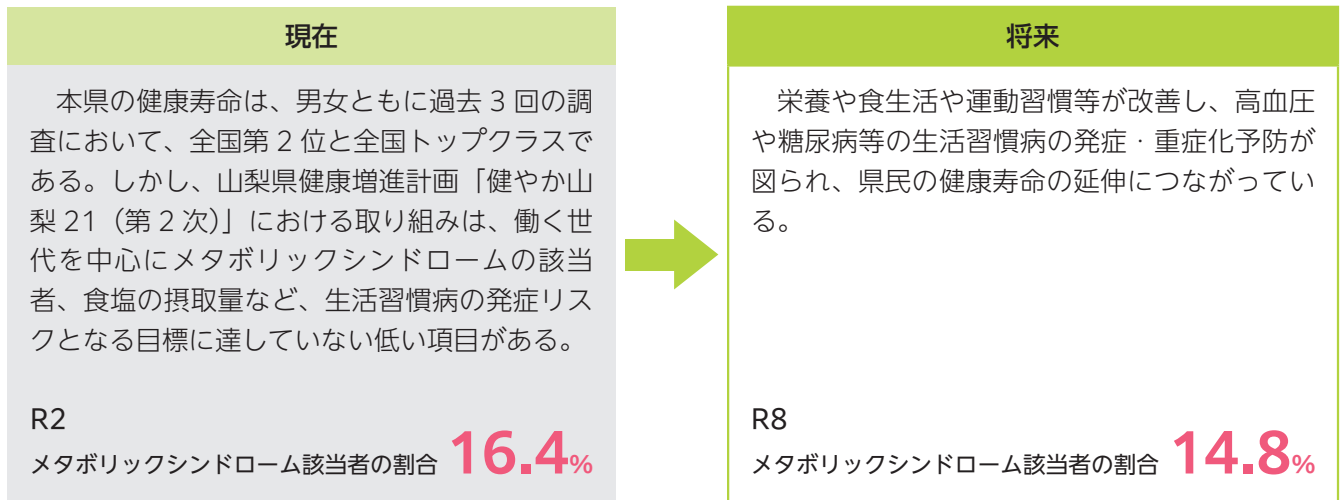
がん対策の一層の充実を図るため、山梨県がん対策推進計画に基づき、「がん予防」、「がん医療の充実」及び「がんとの共生」等、がんに関する総合的な施策を展開します。

（健康増進課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
山梨県がん対策推進計画（第4次）の策定、各種施策の推進	策定	実施		
効果的ながん検診を適切に行うための体制整備	実施			
がん診療連携拠点病院等への支援	支援			
患者のがん治療や生活、就労に係る支援	支援			
妊孕性温存療法を行うがん患者への支援	支援			

12 健康寿命の延伸に向けた健やか山梨21の推進

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

生活習慣病の発症・重症化予防の推進のため、「健やか山梨21（第3次）」の計画に基づき、健やか山梨21推進団体及び市町村、企業等と連携・協働をしながら健康づくり施策を推進します。

（健康増進課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
健やか山梨21（第3次）の策定・実施	策定	実施		
生活習慣病の発症・重症化予防の推進	実施			
地域保健と職域保健の連携による健康増進事業の実施	実施			
働く世代の健康づくり応援事業（優良企業認定事業など）の実施	実施			
栄養・食生活等の改善に向けた取り組み	実施			

13 難病などの疾病対策の推進

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>難病患者及び小児慢性特定疾病児童等の多様なニーズに対応するため、医療や療養生活支援の充実が求められている。</p> <p>また、アレルギー疾患患者が増加する中で、関係者の人材育成、県民への普及啓発が十分でない。</p>	<p>難病患者等への医療及び療養生活支援の充実が図られ、地域で安心して暮らすことができる環境が構築されている。</p> <p>アレルギー疾患の発症・重症化予防や患者の生活の質の維持・向上が図られる。</p>
<p>R4</p> <p>難病診療連携拠点病院</p> <p>難病、小児慢性特定疾病児童等対策地域協議会</p> <p style="text-align: right;">1 施設</p> <p style="text-align: right; color: red; font-size: 2em;">未設置</p>	<p>R8</p> <p>難病診療連携拠点病院</p> <p>難病、小児慢性特定疾病児童等対策地域協議会</p> <p style="text-align: right;">1 施設</p> <p style="text-align: right;">4 圏域</p>

◆施策の概要

難病患者等に対する支援の充実を図るため、地域協議会の開催や難病診療連携拠点病院を中心に診療ネットワークの構築、人材育成等を行うとともに、臓器移植に関する普及啓発を推進します。

また、アレルギー疾患対策の推進を図るため、アレルギー疾患医療拠点病院を中心に診療体制の充実や情報提供、人材育成等に取り組みます。

(健康増進課/医務課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
難病診療連携拠点病院の運営	支援			
難病患者等の対策地域協議会の設置	設置・開催	開催		
アレルギー疾患対策の推進	人材育成等			
移植医療の推進	普及啓発			

14 国民健康保険等の安定的な運営

◆ 施策の目指す姿

現在	将来
<p>必要な人に必要な医療を提供するための前提である国民皆保険（公的医療保険）制度の安定的な運営を堅持する上で、高齢化の進展や医療技術の進歩等に伴う医療費の増大が課題となっている。</p>	<p>生活習慣病の発症・重症化予防などの医療費適正化に向けた取り組みが進み、公的医療保険制度の安定的な運営が図られている。</p>
<p>R2 特定健診受診率 57.3% 特定保健指導実施率 24.7%</p>	<p>R8 特定健診受診率 65.8% 特定保健指導実施率 38.2%</p>

◆ 施策の概要

公的医療保険制度の安定的な運営のため、山梨県医療費適正化計画に基づき、公的医療保険を運営する保険者からなる山梨県保険者協議会を通じた取り組みや、生活習慣病の発症・重症化予防を推進します。

(国保援護課／衛生業務課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
保険者協議会等を通じた医療費適正化の推進	開催・取組			
国民健康保険運営方針に基づく財政安定化の推進	方針改定	研修・支援		
生活習慣病の発症・重症化予防の推進【再掲】	研修・支援			
後発医薬品の使用促進	普及・啓発			

15 歯科保健の充実

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>歯周病は全身の健康（疾患）にも大きく影響することから、日頃の口腔ケアや定期的な歯科健診が重要であるが、十分に理解が進んでいない。</p> <p>高齢化の進展により、在宅での口腔ケアなど歯科医療のニーズが高まるとともに、フレイル予防・介護予防を推進するため、質の高い歯科衛生士が求められているが、歯科診療所を中心に歯科衛生士は恒常的に不足している。</p>	<p>歯科口腔の重要性について理解が進み、歯科健診の受診や医科歯科が連携した医療提供等により、歯科口腔の健康が向上し、県民の健康増進が図られている。</p> <p>在宅医療にも携わることができる技術と専門的な知識を備えた質の高い歯科衛生士が医療機関や介護施設等に必要な人数確保されている。</p>
R4 歯周疾患検診を実施する市町村	R8 歯周疾患検診を実施する市町村
R2 1診療所当たり歯科衛生士数	1診療所当たり歯科衛生士数
19市町村	27市町村
2.3人	2.5人以上

◆施策の概要

歯科口腔機能の維持・向上を図るため、山梨県口腔の健康づくり推進計画に基づき、県歯科医師会や県衛生士会、市町村等と連携して定期的な歯科健診の受診や医科歯科連携推進などライフステージごとの対策を行います。

また、山梨県歯科衛生専門学校の運営に対して支援するとともに、歯科衛生士修学資金の貸与や新人・復職希望者等への技術研修を実施することにより、歯科衛生士の確保と県内定着を図ります。

(健康増進課/医務課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
山梨県口腔の健康づくり推進検討会議の開催	開催			
第2次山梨県口腔の健康づくり推進計画策定・実施	策定	実施		
口腔保健支援センターの運営	運営			
医科歯科連携等推進検討会の開催	支援			
山梨県歯科衛生専門学校への支援	支援			
歯科衛生士修学資金の貸与		支援		
新人・復職希望歯科衛生士等への研修会の開催		開催		

16 障害者支援体制の充実

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>障害のある方が社会で安心して生活できる環境づくりが課題となっている。特に、医療的ケアを行うことができる児童発達支援・放課後等デイサービス・短期入所施設が中北圏域に偏り、介護を行う家族に多大な負担がある。</p>	<p>グループホームや在宅支援の重要な柱となる短期入所、児童通所事業所等の地域的な偏在が是正され、医療的ケアが必要な方や強度行動障害のある方、その他重度障害のある方を含め、障害のある方が、住み慣れた地域で安心して生活できる社会が実現している。</p>
<p>R4 医療型短期入所事業所の利用定員数 21人</p>	<p>R8 医療型短期入所事業所の利用定員数 30人 障害福祉サービスの整備が促進されている。</p>

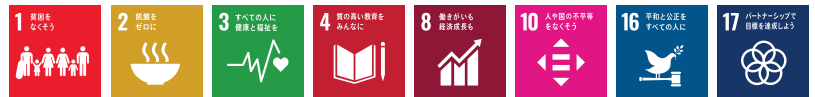
◆施策の概要

医療的ケアを必要とする方や重症心身障害児者が身近な地域で健やかに生活できるよう、医療型短期入所事業所の開設に向け、医療機関等を支援するとともに、強度行動障害がある方も含めた重度の障害がある方への支援を担う専門人材の確保・育成を図ります。

また、障害のある方の自立や地域への定着を促進するため、グループホーム・短期入所事業所の整備を行う社会福祉法人等の支援やピアサポーター等による相談支援体制の強化など施策の充実を図ります。

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
医療的ケア児者や重症心身障害児者の需要予測調査	実施			
医療型短期入所事業所の整備促進	支援			
医療的ケア児者や強度行動障害がある方などへの支援を担う専門人材の確保・育成	実施			
医療的ケア児者の地域の拠点づくりの推進	実施			
富士東部圏域への医療的ケア児支援センターサテライトの開設	検討	設置		
共同生活援助（グループホーム）・児童発達支援・放課後等デイサービスの整備促進	支援			
圏域マネージャーによる相談支援体制の充実（地域のネットワークの構築・課題解決）	配置			
相談支援従事者やサービス管理責任者など支援を担う人材の育成と質の向上	実施			
ピアサポーターの精神科病院派遣（長期入院患者に対する退院支援）	実施			
強度行動障害がある方を支援する事業所等へコンサルテーションを派遣	実施			

政策 4 困難からの脱却・再挑戦に開かれた社会づくり



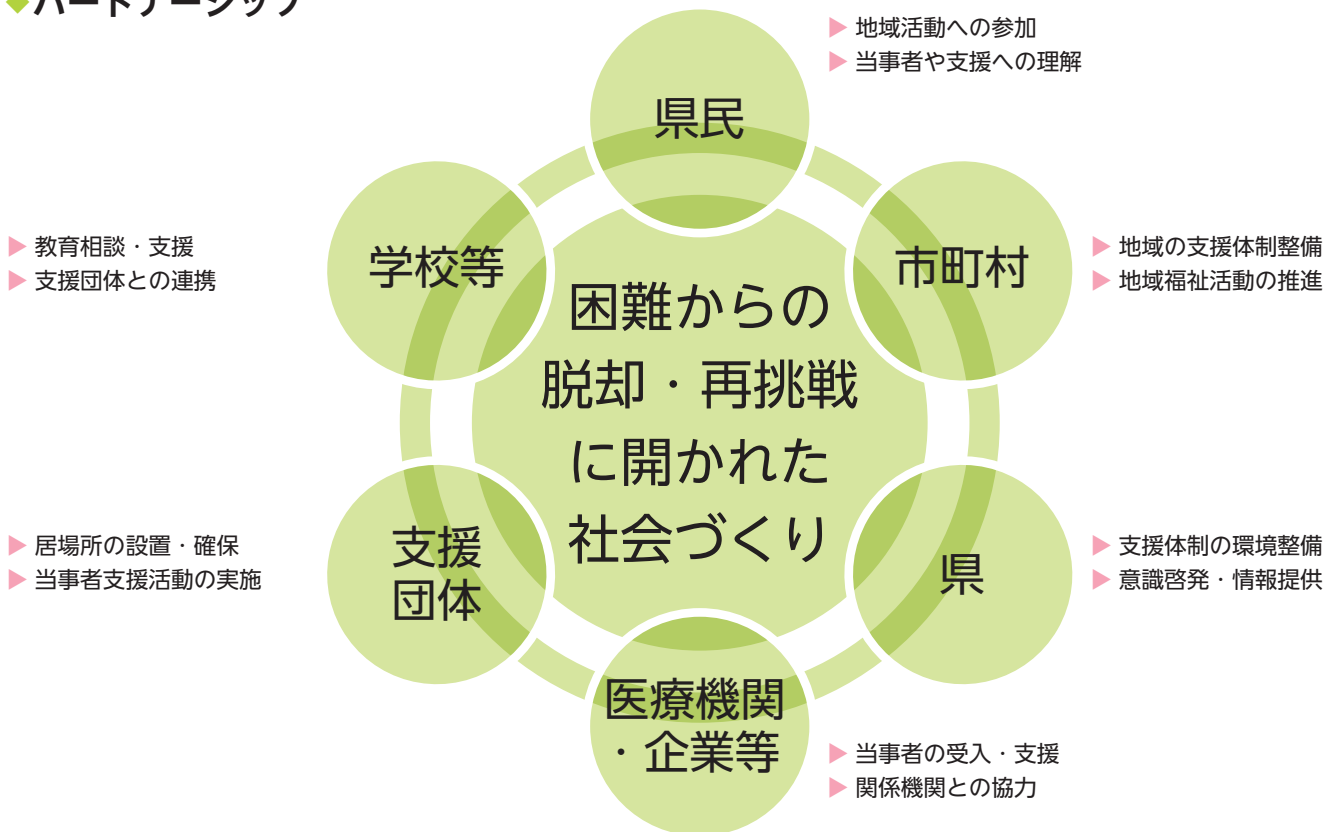
◆政策の基本的な考え方

生活困窮世帯の子どもたちやひきこもりの状態にある方、不登校の児童生徒等が、どのような困難な環境や境遇であっても、そこから抜け出し、夢や希望を叶える機会を得るためには、誰一人取り残されない包摂性のある社会を実現する必要があります。

このため、学校の授業に、子どもが学習状況を自分で判断して学習を進める「自由進度学習」などを導入し、従来の一斉授業による「教師主導の授業」から、「子ども主体の授業」への授業観の転換を進め、不登校が起こらない教育を目指します。また、子どもの実態に合わせて特別な教育課程を編成して学習する「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」の導入も進め、全ての子どもが「自ら選ぶ学び」にアクセスできる教育の実現に取り組みます。

さらに、市町村や支援団体との連携による子どもの貧困対策や居場所の確保などの不登校支援を行うとともに、ICTを活用した学びの支援を行うなど、一人ひとりに応じた丁寧なサポートの充実を図り、当事者や家族の支援につなげることのできる体制を整えます。

◆パートナーシップ



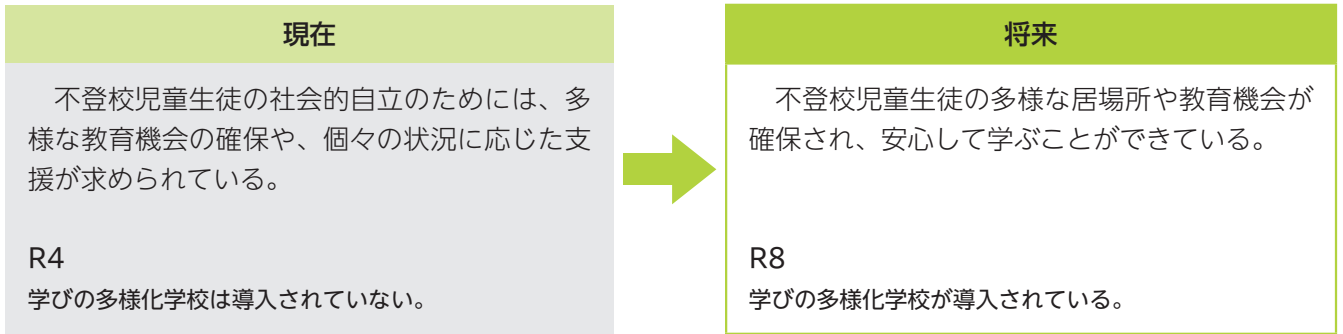
◆期待される政策効果

困難な状況になった場合でも、安定して適切な支援を受けられ、地域と関わりを持つことにより、誰もが安心して自分らしく暮らすことができています。

また、どのような境遇の子どもも安心して学べる環境が提供され、これまでの学校生活が苦手な子どもに対しても、居心地の良い学びの環境が提供されています。

1 不登校児童生徒の居場所の確保や支援の充実

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

不登校児童生徒が安心して学ぶことができる居場所を確保するため、市町村と協議・連携しながら、学びの多様化学校の導入に向け検討します。また、支援団体等と連携し、不登校児童生徒に対する支援の充実を図ります。さらに不登校生徒の教育機会を確保するため、県立高校入学における入試制度を見直します。

(教育企画室／特別支援教育・児童生徒支援課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
学びの多様化学校導入に向けた検討 👤人口対策パッケージ	検討	検討・導入		
市町村、支援団体との連携による不登校支援の推進 👤人口対策パッケージ	実施			
フリースクール等とのネットワーク会議の開催 👤人口対策パッケージ	開催			
県立高校入学における不登校生徒に対応した入試制度の見直し 👤人口対策パッケージ	検討	実施		

2 ひきこもり対策の推進

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>ひきこもり地域支援センターにおいて、ひきこもり当事者や家族に対する相談支援を実施しているが、コロナ禍により、孤独・孤立が深刻化しており、当事者の社会参加を促進するため、市町村・民間団体による支援活動の充実が求められている。</p>	<p>全市町村で支援体制（プラットフォーム）が整備され、民間団体による居場所活動の充実・強化により、ひきこもり当事者及びその家族への支援体制が整備され、支援が適切に行われている。</p>
<p>R4 市町村プラットフォーム整備 21市町村 ひきこもり支援就業体験事業者等によるインターンシップ参加者 10人</p>	<p>R8 市町村プラットフォーム整備 27市町村 ひきこもり支援就業体験事業者等によるインターンシップ参加者 50人 認証民間支援団体 10団体</p>


◆施策の概要

ひきこもり状態にある方が社会とつながることができるようにするため、当事者や家族等に対し必要な調査を行い、有効な支援策を策定して実施します。

民間支援団体が活動しやすく、当事者や家族が支援を受けやすい環境を整えるため、活動を補助するとともに、認証制度を創設し認証団体の周知を図ります。

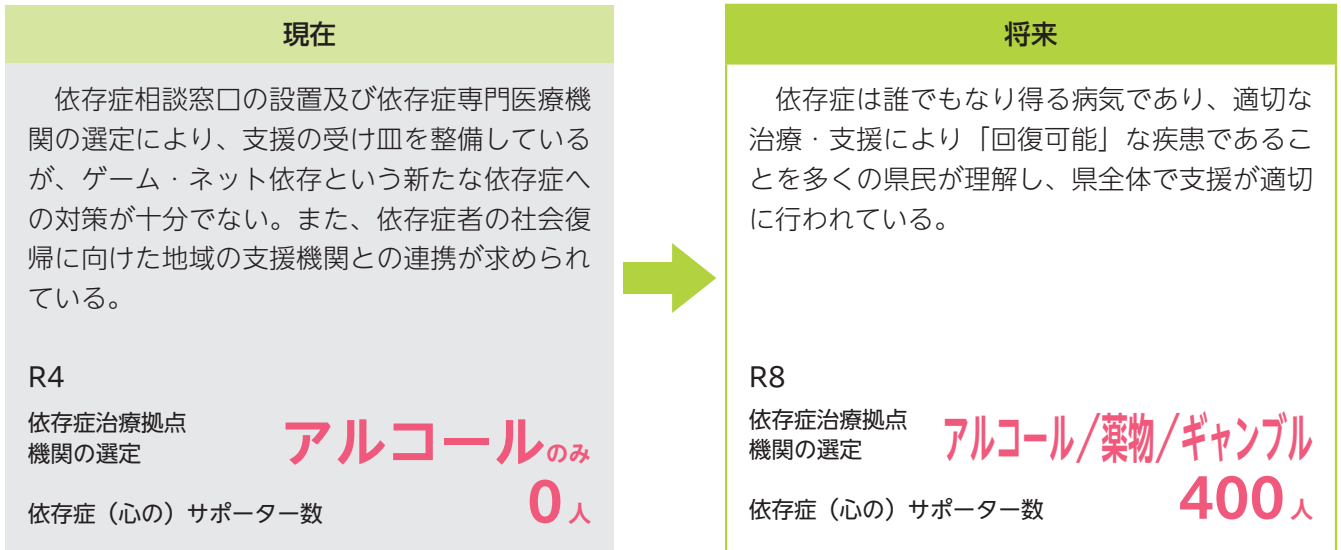
職業体験などを通じて当事者の社会参加を促進するため、受け入れ先の掘り起こしなどを進めます。

(県民生活総務課／健康増進課／特別支援教育・児童生徒支援課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
ひきこもり実態調査の実施、施策の検討・実施	調査	施策の検討・実施		
対人援助を提供する人材の育成	研修実施			
ひきこもり支援団体の認証	要綱制定	団体の認証・周知		
民間支援団体が実施する居場所活動等への補助	実施			
職業体験モデル事業	実施		効果検証	
市町村、支援団体との連携による不登校支援の推進【再掲】  人口対策パッケージ	実施			

3 依存症からの脱却の支援

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

各種依存症に関する正しい理解を促進するため、依存症に関する普及啓発や県民全体の依存症対応力向上に取り組めます。

また、依存症当事者の社会復帰に向けて、地域の民間団体の活動を支援し、市町村・医療機関・企業等とワンチームで対策に取り組むとともに、依存症当事者及びその家族が適切な医療を受けられるよう、治療拠点の拡充や依存症に対応する人材の育成など医療提供体制を整備します。

(健康増進課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
依存症連携会議の開催	開催			
民間団体支援が実施する相談活動等への補助	実施			
ゲーム・ネット依存に対する官民協働事業の実施	検討	実施		
若年層を対象とした依存症予防に向けた普及啓発の実施	実施			
依存症（心の）サポーターの養成	指導者養成	指導者養成・サポーター養成		
治療拠点機関の整備	検討	選定		

4 子どもの貧困対策の推進

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>生活に困窮する家庭や子どもに対する支援は徐々に広がっているものの、持続可能な仕組みや困難からの脱却につながる体制になっていない。</p> <p>大学進学を望みながらも、経済的理由などにより、学習の機会が十分に確保できていない高校生への支援が求められている。</p>	<p>県内いずれの地域でも安定して支援が受けられるとともに、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の連鎖を断ち切るための中長期的な取り組みが行われている。</p> <p>全ての高校生が、主体的に自己の進路を選択し、経済的理由などに左右されることなく、進路実現に向けて、学習に取り組んでいる。</p>
R4 生活困窮世帯の子どもへの 学習支援を利用する子どもの数 70人	R8 生活困窮世帯の子どもへの 学習支援を利用する子どもの数 140人

◆施策の概要

貧困の状況にあるひとり親などの家庭やその子どもに必要な支援につなげ、地域で安心して暮らせるよう、こども食堂などの活動が県内各地に広がり、食料や生活用品が安定的に提供される体制の構築を図ります。

また、中高生が気軽に立ち寄り、悩みや困りごとを相談できる居場所を提供するとともに、親から子への貧困の連鎖を断ち切るため、家庭の経済状況にかかわらず学習できる環境をつくります。

キャリア・パスポートなどを活用して早期からのキャリア教育・進路指導を行い、一人ひとりの主体的な進路選択を支援するとともに、経済的理由に左右されることなく学習に取り組み、進学を希望する高校生が安心して進学への準備を進めることができるよう支援します。

(子ども福祉課 / 高校教育課 / 義務教育課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
子どもの貧困対策推進に関する 計画推進・改定 人口対策パッケージ	推進	推進・改定	推進	
ひとり親家庭等への自立支援 人口対策パッケージ	支援			
こども食堂サポーターの登録推進 人口対策パッケージ	推進			
市町村・民間団体との協働による食料・生活用品支援 ネットワークの構築・強化 人口対策パッケージ	構築・強化			
中高生の居場所の設置・普及 人口対策パッケージ	準備	設置・普及		
生活困窮世帯の子どもへの学習支援 人口対策パッケージ	支援			
キャリア・パスポートの利活用 人口対策パッケージ	実施			
就学支援金等による教育のための支援 人口対策パッケージ	支援			

5 総合的な自殺防止対策の展開

◆ 施策の目指す姿

現在	将来
<p>住所地ベースの自殺死亡率は全国の中でも中位から上位で推移しており、発見地ベースの自殺死亡率も高い状況にある（2022（令和4）年・全国ワースト）。</p>	<p>新たな自殺防止対策に関する計画に基づき各種施策の総合的な推進が図られ、住所地ベースの自殺死亡率が減少するとともに、効果的なハイリスク地対策の取り組みにより、発見地ベースの自殺死亡率が減少している。</p>
<p>R4 住所地ベースの自殺死亡率 16.8（人口10万対） 発見地ベースの自殺死亡率 24.7（人口10万対）</p>	<p>R8 住所地ベースの自殺死亡率 減少 発見地ベースの自殺死亡率 減少</p>

◆ 施策の概要

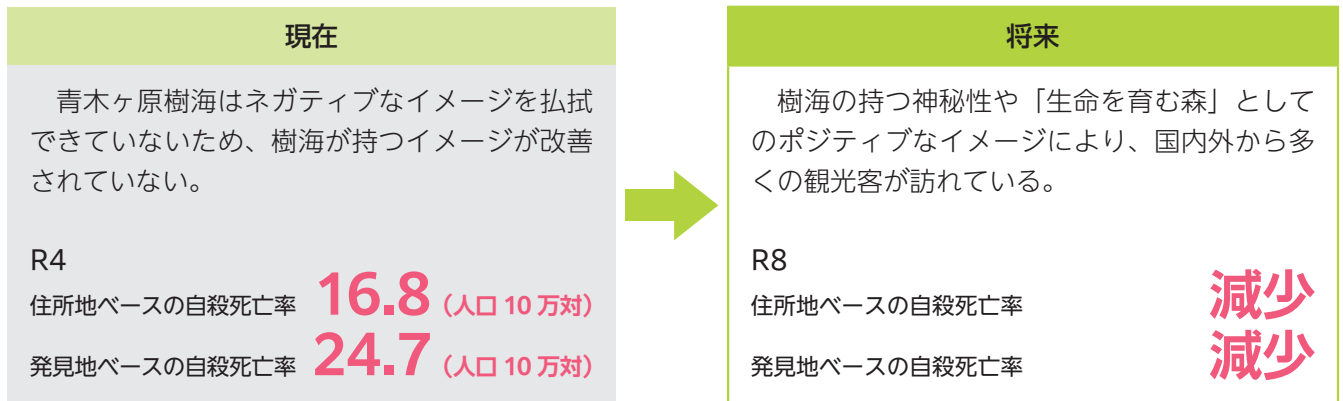
住所地ベースの自殺死亡率の減少を図るため、本県における自殺の現状を詳細に分析した上で、新たな自殺防止対策に関する計画に基づき各種施策を総合的に推進するとともに、発見地ベースの自殺死亡率の減少を図るため、効果的なハイリスク地対策に取り組みます。

（健康増進課／観光振興課／特別支援教育・児童生徒支援課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
新たな自殺防止対策に関する計画の策定、各種施策の推進	策定・実施			
相談窓口等の普及啓発活動の推進	実施			
ゲートキーパー等人材の確保・育成推進	実施			
相談支援の充実	実施			
ハイリスク地のイメージアップ強化、ハイリスク地（水際対策）・ハイリスク者対策	実施			
自殺未遂者の実態調査に基づく対策の強化	調査		対策検討	対策実施
SOS の出し方等自殺予防教育の推進	実施			

6 青木ヶ原樹海のイメージアップの推進

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

青木ヶ原樹海の自然的・文化的・学術的に価値のある魅力を国内外へ知らしめ、「生命を育む森」としてイメージアップに取り組みます。

また、青木ヶ原樹海のイメージアップを図るため、青木ヶ原樹海を中心とした原生的な自然の適正利用の在り方について国・地元自治体等が集う会議体において議論を進め、エコツーリズムの普及と体験の充実化を推進します。

(観光振興課/観光資源課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
青木ヶ原樹海のイメージアッププロモーションの実施	実施			
富士箱根伊豆国立公園満喫プロジェクト 富士山麓地域協議会への参加	参加			

政策 5 地域を担う人財づくり



◆政策の基本的な考え方

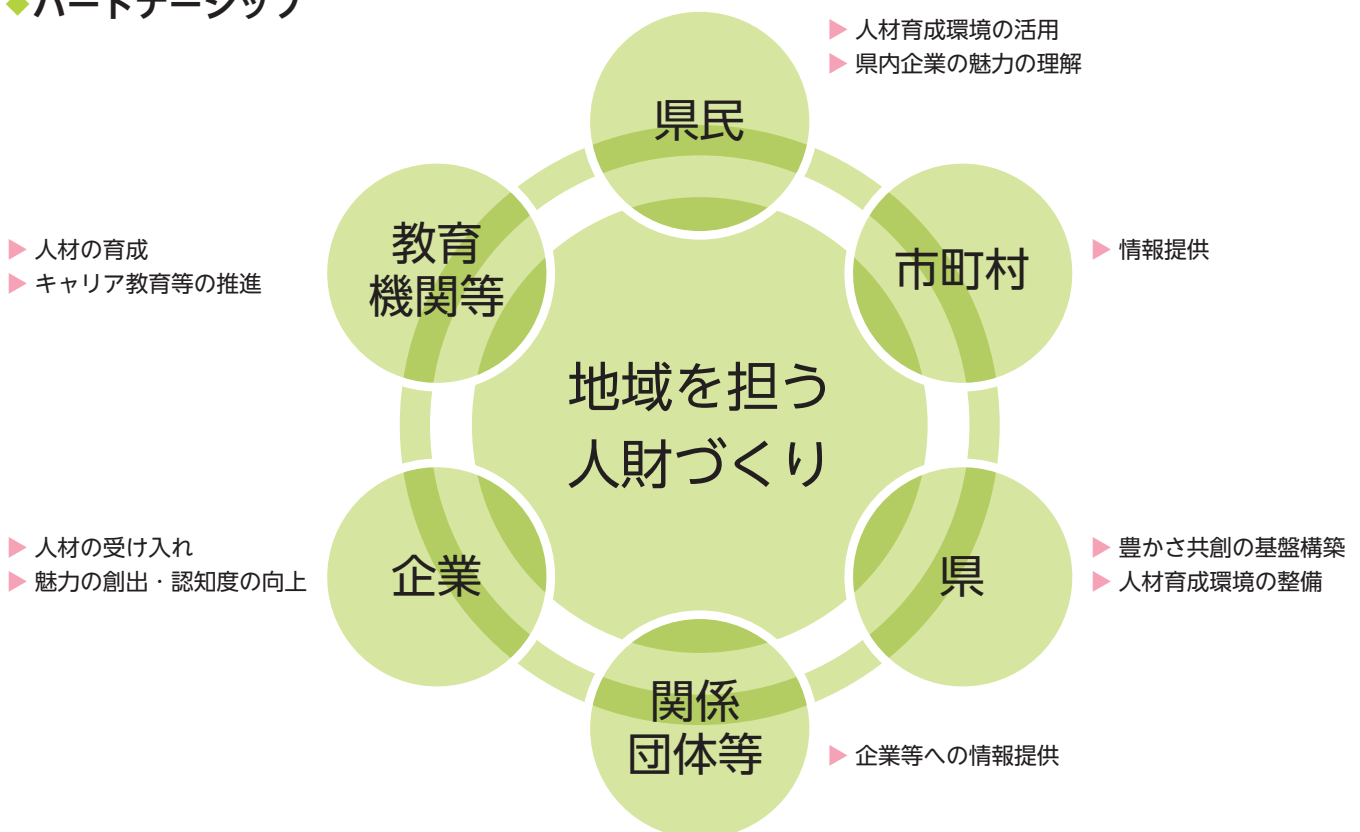
産業構造が大きく変化する中で、この変化に対応した人材の育成を図るとともに、若者の県外への流出を防ぎ県内への定着を図るために、県内への就職を促していく必要があります。

このため、産業人材を育成する教育機関等の持つ専門的な知見を十分に活用する中で、産業界との連携などにより、地域の産業に求められる技術等を習得する機会を提供するとともに、起業や社会の課題解決等に資する能力を身につけるために必要な教育を実施し、地元で活躍する人材の育成を進めます。

また、県内企業や山梨で働く魅力の発信により、県内就職やUターン・Iターンを促し、必要な人材の確保を図ります。

加えて、DX人材の安定的な確保・育成に向け、中学校・高等学校でデジタルスキルを学んだ生徒が大学で更に磨きをかけ、社会人となって活躍することに加え、中学生・高校生などを指導するという自発的な循環サイクル「DX人材育成エコシステム」の形成を進めます。

◆パートナーシップ



◆期待される政策効果

時代の変化に対応した産業人材の育成が図られるとともに、県内での就職や起業が増加し、豊富な人材が活発な事業活動を支えています。

1 「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」構想の推進

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>社会が大きく変化中、企業の持続的成長と働く人の賃金上昇を共に実現するためには、労使が共益関係を築き、企業全体の生産性向上に向けた働く人のリスキリングを行う必要があるが、課題も多い。</p> <p>また、物価上昇に対応した賃上げが先行しつつある中、企業は原資を生み出す収益が必要となるが、中小企業が多い本県においては、適正な価格転嫁に課題も見られる。</p>	<p>経営者と労働者が企業の成長に向けて目的を共有する中で、働く人の能力開発によるスキルアップが進み、生産力や創造力が企業の収益につながり、働く人に賃金上昇をもたらす「豊かさ共創」の好循環が実現している。</p> <p>また、原材料費やエネルギーコスト等の上昇の際にも、適正に価格転嫁できる環境が整備されている。</p> <p>R8 豊かさ共創スリーアップ 推進協議会参加企業数 500社 (R5～8 累計)</p> <p>やまなしキャリア アップ・ユニバー シティ利用者数 2,000人 (R5～8 累計)</p> <p>やまなしキャリア アップ・ユニバー シティ利用者満足度 80%以上 (R5～8 平均)</p>

◆施策の概要

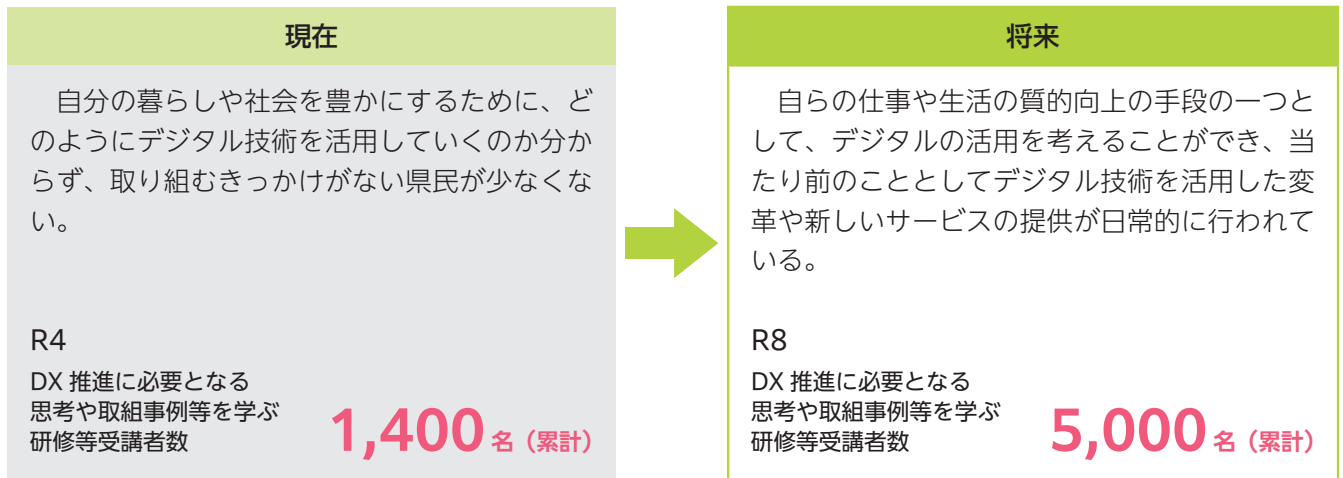
物価高騰などの外部環境の変化に対応できる労使関係の構築を目指し、関係者による豊かさ共創基盤の構築に向けた共同宣言や豊かさ共創の理念に賛同する企業からなる協議会を設立します。

また、労使が目的意識を共有するための関係構築の後押しや、企業の収益向上を促すためのリスキリング支援拠点「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」を設置するとともに、その一環として高付加価値型観光への進化・前進を目指す「やまなしアドバンスト・ツーリズム・アカデミー」を設置します。

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
豊かさ共創基盤の構築に向けた共同宣言 👥 人口対策パッケージ	宣言			
豊かさ共創スリーアップ推進協議会の 設置・運営 👥 人口対策パッケージ	準備	設置・運営		
豊かさ共創フォーラムの設置・運営 👥 人口対策パッケージ	準備	設置・運営		
やまなしキャリアアップ・ユニバーシティの 設置・運営 👥 人口対策パッケージ	準備	設置・運営		
やまなしアドバンスト・ツーリズム・ アカデミーの設置・運営【再掲】 👥 人口対策パッケージ	検討		設置準備	設置・運営
県民運動に向けたプロモーションの実施 👥 人口対策パッケージ	実施			

2 全ての県民のデジタル・リテラシーの向上

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

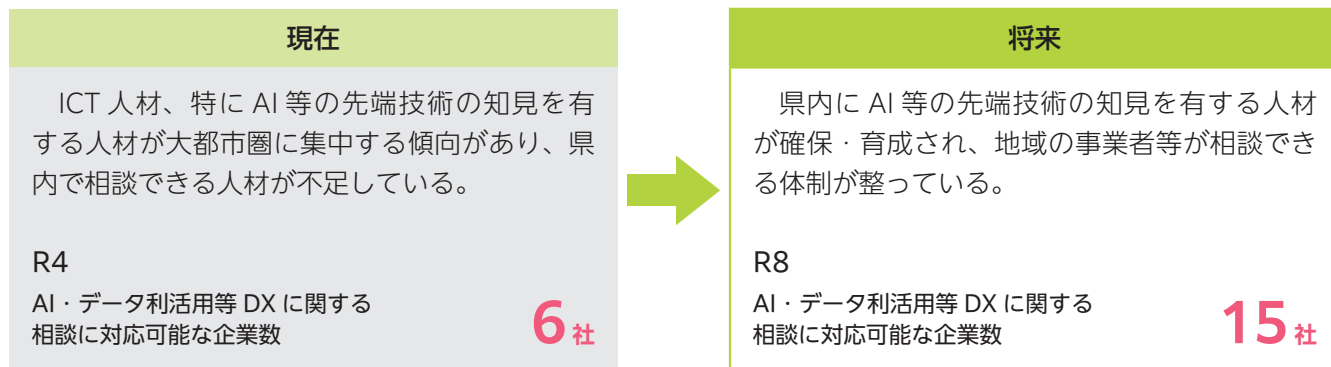
デジタル技術を活用した変革を自分事として実践していくために必要となるマインドセット（物事の見方や考え方）の醸成を図るため、それぞれの立場や理解度に応じた学習のための動画配信、オンライン講座やワークショップの実施等により、様々な学ぶ場を提供し、自分事として考え、行動するためのきっかけづくりに取り組めます。

(DX・情報政策推進統括官)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
DX とは何かを学ぶためのオンラインコンテンツの配信	配信			
DX を自分事として考えるきっかけとなるオンライン講座等の実施	実施		見直し・実施	
DX に具体的に取り組むきっかけとなるワークショップ等の実施	実施		見直し・実施	

3 ICT人材の確保・育成の支援

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

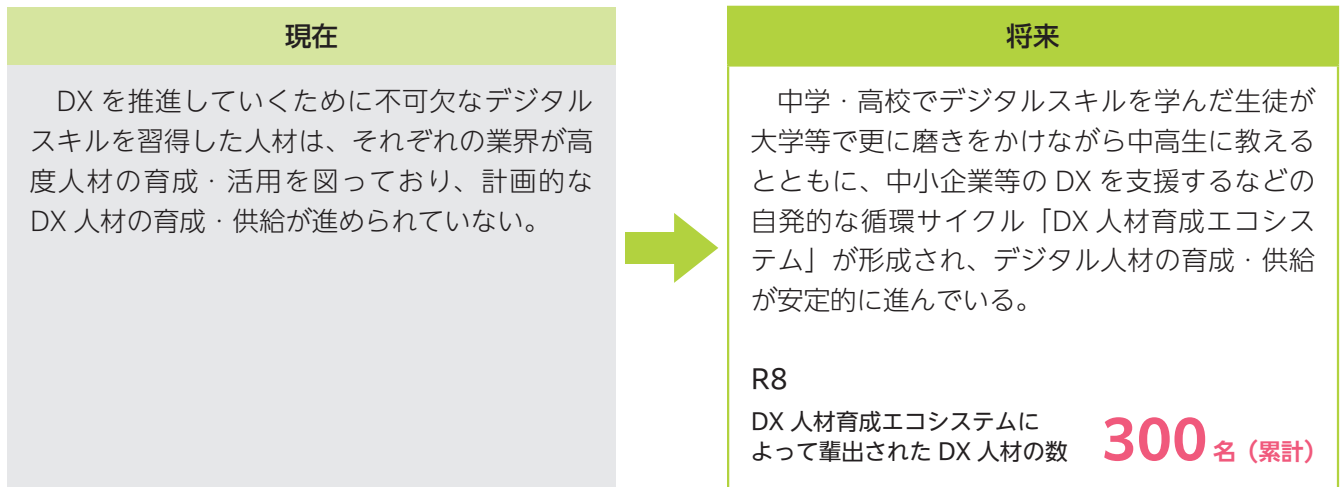
県内で社会全体のDX加速化に必要な先端技術を扱う人材を確保・育成するため、既にデジタル技術に素養のある県内ICT企業に従事している技術者向けに、先端技術のスキルを習得するためのAI・データ利活用スペシャリスト育成講座等により、即戦力となるスペシャリストの育成を促進するとともに、AI等先端技術の基礎を学習してきた学生等を対象に、その分野のスペシャリストを目指す契機となるようハッカソン等を開催します。

(DX・情報政策推進統括官)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
AI・データ利活用スペシャリスト育成講座等の実施	実施		見直し・実施	
AIハッカソン等の開催	実施		見直し・実施	

4 DX人材育成エコシステムの形成

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

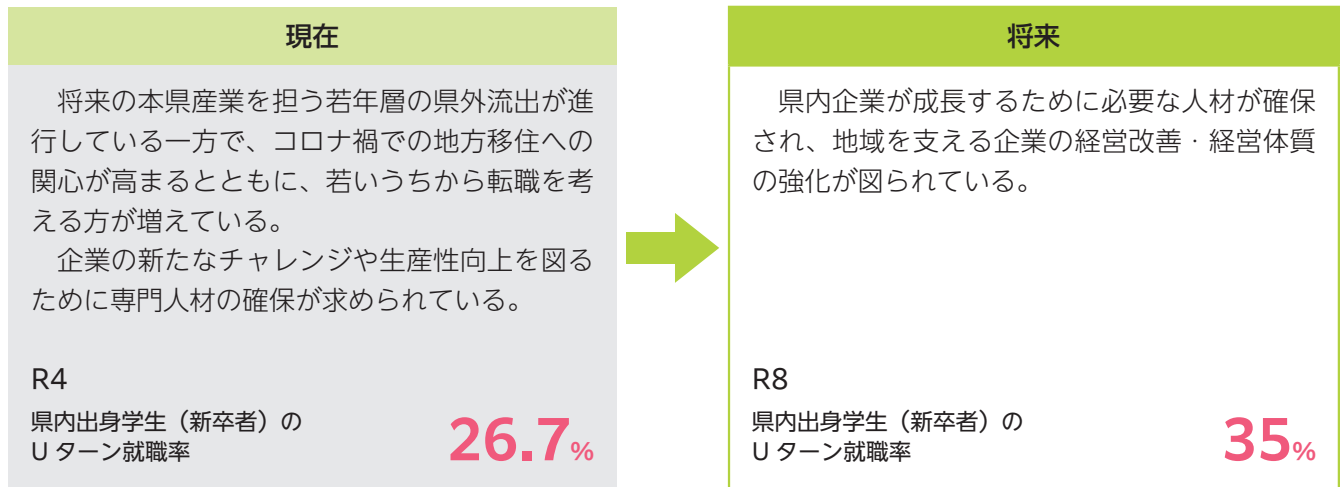
DX人材の安定的な育成・供給に向け、中学・高校でデジタルスキルを学んだ生徒が大学等で更に磨きをかけながら、中高生などのデジタルスキル習得の指導を行うとともに、商工会等を通じて中小企業等のDXを支援する自発的な循環サイクル「DX人材育成エコシステム」の形成を進めていきます。

(DX・情報政策推進統括官)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
中学生・高校生へのデジタル教育	実施	見直し・実施		
大学生等へのデジタル教育・システム参画	実施	見直し・実施		
商工会等を通じた中小企業等への支援		実施		

5 人材確保対策の推進

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

県出身学生に加え、キャリアアップやライフイベントを契機として本県での就職を考える若年層に対して、やまなし暮らし支援センターを拠点として就職支援や情報提供を行い、UIターン就職につなげる機会の拡大を図ります。

また、人口減少傾向が続く中、人材確保・育成を強力に推進するため、企業と求職者のマッチング機会の提供を図るとともに、求職者の相談窓口の設置や職業訓練を実施します。

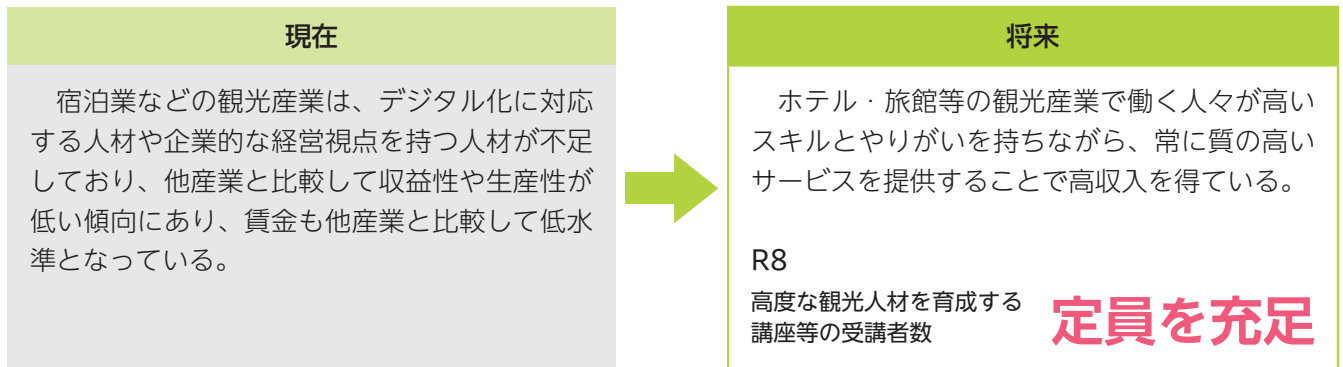
企業が持続的成長に向けた経営革新に取り組むことができるよう、副業・兼業を含む専門人材の活用を行う企業の拡大を図ります。

(労政人材育成課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
やまなし暮らし支援センターにおける就職相談等 👥人口対策パッケージ	実施			
県内企業とのマッチング支援 👥人口対策パッケージ	支援			
山梨で働き暮らす魅力の情報発信 👥人口対策パッケージ	実施			
プロフェッショナル人材の活用支援 👥人口対策パッケージ	支援			
機械電子産業関連企業に就職する大学生等の奨学金の返還支援 👥人口対策パッケージ	見直し・実施			
やまなし・しごと・プラザの運営 👥人口対策パッケージ	実施			
求職者等に対する職業訓練の実施 👥人口対策パッケージ	実施			

6 新時代の観光業を支える人材の育成

◆施策の目指す姿




◆施策の概要

薄利多売型観光から脱却し、高付加価値型観光へと進化・前進させるため、「キャリアアップ・ユニバーシティ」構想の一環として、「やまなしアドバンスト・ツーリズム・アカデミー」を設置し、その担い手たる観光DX人材や経営マネジメント人材などを育成します。

腕利きシェフや飲食店経営者による若手料理人向けセミナーを開講してメニューや経営ノウハウを伝授し、修了者には一定の称号を付与する仕組みを検討します。

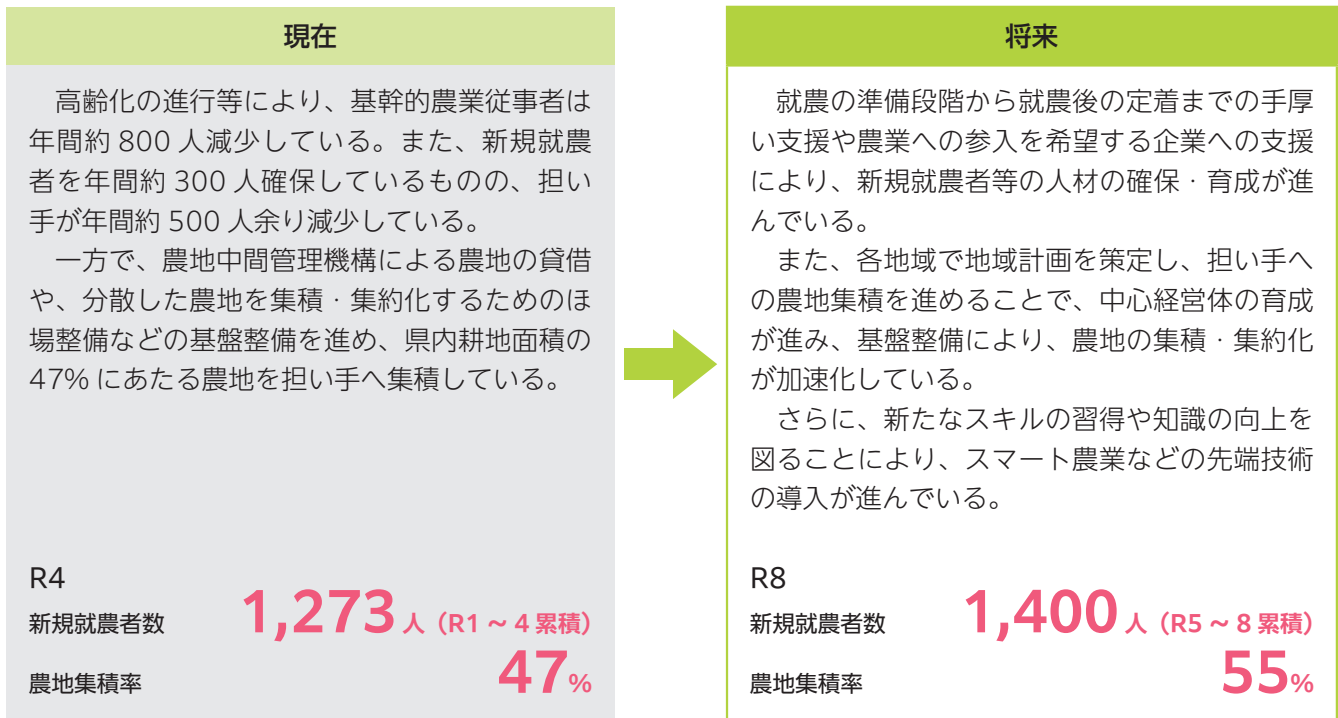
サイクルツアーガイドに必要な観光案内や安全走行などの知識、技術を学ぶ養成講座を行い、質の高いサイクルツアーガイドを養成し、活用を進めます。

(観光文化・スポーツ総務課/観光振興課/スポーツ振興課/労政人材育成課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
やまなしアドバンスト・ツーリズム・アカデミーの設置・運営 	検討		設置準備	設置・運営
若手料理人セミナーの開講【再掲】	検討	開講		
サイクルツアーガイドの養成・活用【再掲】	実施			
産業技術短期大学校における観光人材の育成	実施			

7 農畜水産業の人材の確保・育成

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

新規就農者に対し、就農の支援段階から就農後の定着・経営発展までの切れ目のない経営及び技術支援と基盤整備による生産条件の良い農地、住宅などをパッケージで提供します。また、担い手へ先端技術の習得や教育、農業生産施設等の導入を支援します。

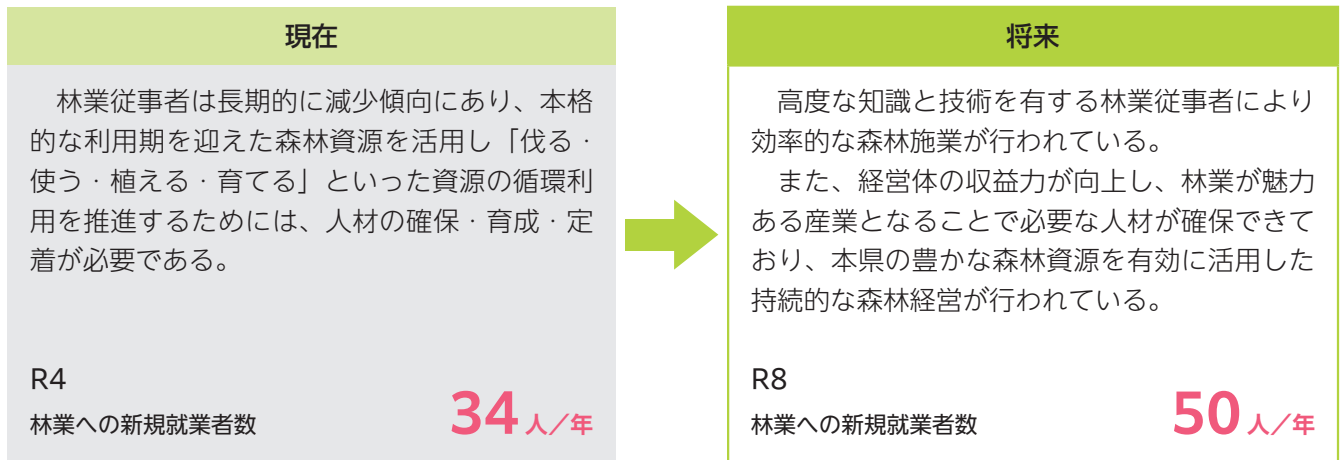
併せて、市町村が策定する地域計画に基づき、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施により、担い手等への農地の集積を推進します。

(担い手・農地対策課／農業技術課／果樹・6次産業振興課／農村振興課／耕地課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
就農の準備段階から就農定着・経営発展までの支援 👥 人口対策パッケージ	実施			
担い手等への先端技術の習得やリカレント教育等の支援 👥 人口対策パッケージ	実施			
地域計画の策定支援と担い手への農地集積の推進 👥 人口対策パッケージ	実施			
農地の集積・集約化に向けた基盤整備の推進 👥 人口対策パッケージ	整備			
農業生産施設等の導入の支援 👥 人口対策パッケージ	実施			

8 林業の人材の確保・育成

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

林業の魅力を実効的に発信することで、新規就労者の確保を支援します。

また、農林大学校森林学科のカリキュラムや技術研修会などを通じて、高度な知識と技術を身につけた人材を育成していきます。

併せて、林業経営体における勤務条件や福利厚生などの労働環境の改善等、新規就労者の働きやすい環境を整える取り組みを支援します。

(林業振興課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
新規就業者の確保に向けた情報発信 👥人口対策パッケージ	実施			
農林大学校森林学科における人材育成 👥人口対策パッケージ	実施			
技術研修会等の開催による担い手の育成 👥人口対策パッケージ	実施			
労働環境の改善等による定着促進 👥人口対策パッケージ	実施			

9 次代のやまなしを支える人材の育成

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>グローバル化の進行や科学技術の進展が加速する社会の中で、次代を担う人材の育成が進んでいない。</p> <p>R4 若手研究者への研究支援の人数 10名</p> <p>高校生・大学生等の海外留学への支援人数 1名</p>	<p>グローバルな視野、高度な知識・技術などを持つ若者や若手研究者の育成が進み、各分野で活躍している。</p> <p>R8 若手研究者への研究支援の人数 32名 (R5～8 累計)</p> <p>高校生・大学生等の海外留学への支援人数 24名 (R5～8 累計)</p>

◆施策の概要

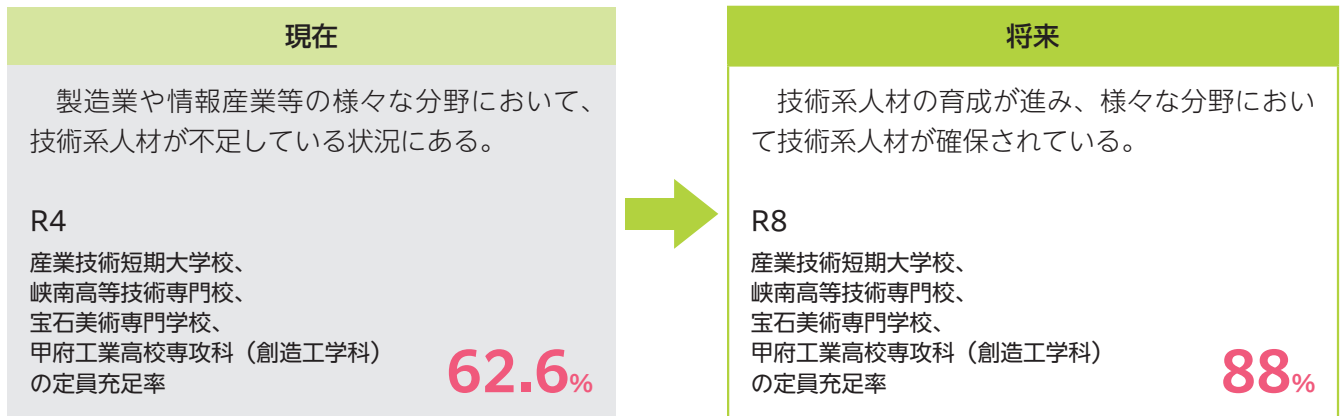
次代のやまなしを支える人材育成を図るため、「山梨県大村智人材育成基金」を活用し、中高生の優秀な研究等を表彰するとともに、若者の海外留学や若手研究者の研究環境の充実などに向けた取り組みを支援します。

(私学・科学振興課／義務教育課／高校教育課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
若者の海外留学に対する支援 👥 人口対策パッケージ	実施			
若手研究者の研究活動に対する支援 👥 人口対策パッケージ	実施			
中高生の優秀な研究等に対する表彰 👥 人口対策パッケージ	実施			
未来の科学者訪問セミナーの実施 👥 人口対策パッケージ	実施			

10 技術系人材の育成・確保

◆施策の目指す姿



◆施策の概要

本県産業を支える技術系人材を育成・確保するため、産学官が連携して策定するアクションプランに基づく取り組みの推進や産業技術短期大学校及び峡南高等技術専門学校における人材育成プランに基づく取り組みの推進を図るとともに、宝石美術専門学校や甲府工業高校専攻科（創造工学科）における人材育成の充実、機械電子産業関連企業に就職する大学生等の奨学金の返還や産業技術短期大学校等への就学を支援します。

また、サイエンスを基盤にしなやかな頭脳と豊かな感性を持つ人材を育む高専の開設に向けた検討を進めます。

(労政人材育成課／産業振興課／高校教育課／政策企画グループ)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
産学官連携人材確保・育成推進会議におけるアクションプランの策定・推進 人口対策パッケージ	推進		策定・推進	推進
産業技術短期大学校、峡南高等技術専門学校、宝石美術専門学校、甲府工業高校専攻科（創造工学科）における産業人材育成の充実 人口対策パッケージ	実施			
機械電子産業関連企業に就職する大学生等の奨学金の返還支援【再掲】 人口対策パッケージ	見直し・実施			
産業技術短期大学校等への就学支援（就学給付金の支給、入学金・授業料の免除） 人口対策パッケージ	実施			
産業技術短期大学校における AI 等の時代の変化に対応した教育カリキュラムの実施 人口対策パッケージ	実施			
高専開設に向けた検討 人口対策パッケージ	実施			

11 建設産業の担い手確保に向けた魅力発信

◆施策の目指す姿

現在	将来
<p>建設産業は、地域のインフラ整備等の担い手であると同時に、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」として、県民生活や経済活動を支える大きな役割を担っている。</p> <p>建設産業従事者の高齢化が進展し、30歳未満の若年者が減少しており、将来の建設産業を支える担い手が不足している。</p>	<p>建設産業の担い手が確保されるとともに、就業者の定着や健全な経営の維持によって、良質な社会資本の整備や災害時の安全・安心の確保等、地域の維持・発展に貢献し続けている。</p> <p>R8 建設産業の担い手確保・育成の取り組みや生産性の向上により、良質な社会資本整備や地域の安全・安心が、より改善されている。</p>

◆施策の概要

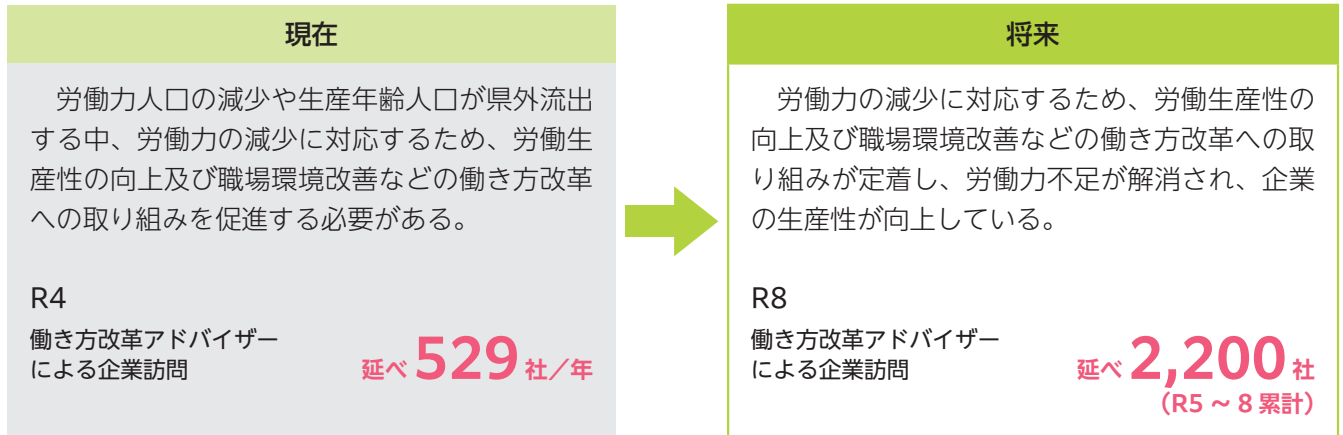
「地域の守り手」として役割が期待される建設産業の持続的な発展のため、関係団体等と連携して行う担い手確保・育成事業において、特に次代を担う子どもたちが建設産業に関する理解を深めるための施策を展開するとともに、建設現場における生産性の向上や経営基盤強化等の取り組みを推進します。

(建設業対策室／技術管理課)

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
産学官連携による施策の推進 👥 人口対策パッケージ	実施			
未来の建設産業を担う若年者や女性等の 入職・定着の促進 👥 人口対策パッケージ	実施			
建設現場の生産性向上に向けた ICT 施工技術習得の支援 👥 人口対策パッケージ	実施			
経営基盤強化のための取り組みへの支援 👥 人口対策パッケージ	実施			

12 働き方改革の推進

◆ 施策の目指す姿



◆ 施策の概要

県内中小企業における働き方改革を推進するため、企業に対する専門家等による支援、セミナーの開催及び出前研修等により、ICT を活用した業務改善や働きやすい職場環境の改善を支援します。

(労政人材育成課)

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
優れた働き方改革に取り組む 県内企業を表彰 人口対策パッケージ	表彰			
県内企業を対象にした働き方改革 セミナーの開催 人口対策パッケージ	開催			
業務改善や生産性向上のためのスキルアップ意欲の向上などを目的とした働き方改革出前研修 人口対策パッケージ	実施			
働き方アドバイザーによる企業訪問及び 専門家の派遣 人口対策パッケージ	訪問・派遣			
働き方改革実態調査の実施、 施策の検討・実施 人口対策パッケージ	調査	施策の検討・実施		